

第7次江別市総合計画策定に係る
えべつの未来づくりミーティング開催結果

分析編

令和4(2022)年9月
江別市

目次

I	えべつの未来づくりミーティングについて	1
1	えべつの未来づくりミーティングの実施について	1
2	開催一覧	2
3	テーマについて	3
II	共通のテーマで出された意見	4
1	江別市の「強み」「弱み」	4
2	人口減少が進む中で、江別市が力を入れるべき分野	19
III	グループ特有のテーマで出された意見	35
1	一般社団法人 江別青年会議所	35
2	江別市自立支援協議会	36
3	公益社団法人 江別市シルバー人材センター	36
4	社会福祉法人 長井学園の利用者の皆さん	37
5	まちづくり関係団体	37
6	江別SOGIの会	38
7	江別聴力障害者協会	38
8	江別空色クラブ	39
9	市内企業の経営者の皆さん	39
10	市内企業に勤務する若手社員の皆さん	40
11	江別市女性団体協議会	41
12	市内各大学の学生の皆さん	42
13	介護予防サポーターの皆さん	43
14	社会福祉法人 江別市社会福祉協議会の若手職員の皆さん	44
15	江別認知症の人の家族を支える会（かけはしの会）	45
16	J A道央・J A道央青年部	46
17	江別市私立幼稚園P T A連合会	47
18	経験豊富な農業者の皆さん	48
19	野幌地区自治会連絡協議会	49
20	江別地区自治会連絡協議会	50
21	江別視覚障害者福祉協会	51
22	市内各高等学校の生徒の皆さん	52
23	地域の医療・介護に携わる方	53
24	大麻地区自治会連絡協議会	54
25	江別身体障害者福祉協会	55
26	江別市P T A連合会	56

I えべつの未来づくりミーティングについて

令和6年度（2024年度）を初年度とする「第7次江別市総合計画」の策定に向けた市民参加の取組の一つとして、「えべつの未来づくりミーティング」（以下「ミーティング」といいます。）を実施しました。

1 えべつの未来づくりミーティングの実施について

令和2年当初から続く新型コロナウイルスの感染拡大の影響を考慮し、少人数から成るグループを複数設定して、グループごとに、江別市の未来について語り合うミーティングを行うこととしました。

実施に当たっては、はじめに、大区分として、七つのカテゴリーを設定し、さらに、小区分として、実施するグループを設定しました。

また、ミーティングには、将来の江別市を担う市の若手職員も一参加者として出席しました。

番号	カテゴリー	趣 旨	グループ
1	子ども・若者	子どもたちや若い世代の意見を把握する。	市内中学生
			市内高校生
			市内大学生
2	子育て世代	子育て世代の意見を把握する。	子育て中のパパ・ママなど
3	シニア世代	シニア世代の意見を把握する。	元気な高齢者
			働く高齢者
			認知症の高齢者の家族
4	地域福祉に関わりの深い方	地域福祉、地域医療、障がい福祉や当事者の意見を把握する。	ボランティア団体・支援団体
			障がい者関係・当事者団体 (身体・知的・精神)
5	地域産業に携わる方	地域産業に携わる方の意見を把握する。	市内事業者
			市内企業の従事者
			農業に携わる方
6	市民活動に関わりの深い方	地域活動、まちづくり活動を支えている方の意見を把握する。	自治会
			女性団体
			まちづくりに関わる団体等
7	その他	1から6まで以外の方からの意見を把握する。	LGBTQの支援等に関わる団体

2 開催一覧

ミーティングは、令和4年1月から7月までの約半年間にわたり実施しました。

なお、1月27日から3月21日まで、北海道における「まん延防止等重点措置」の期間となり、新型コロナウイルスの感染拡大を防止する観点から、開催を控えました。

【単位：人】

番号	実施日	グループ	出席者	若手職員	合計
1	1月26日	一般社団法人江別青年会議所	5	1	6
2	3月22日	江別市自立支援協議会	5	1	6
3	3月28日	公益社団法人江別市シルバー人材センター	4	1	5
4	3月28日	知的障がい当事者（長井学園）	4	0	4
5	3月30日	NPO法人江別手をつなぐ育成会	5	0	5
6	4月25日	まちづくり関係団体	4	2	6
7	4月25日	江別SOGIの会	5	1	6
8	4月27日	江別聴力障害者協会	4	1	5
9	4月28日	精神障がい当事者（江別空色クラブ）	3	1	4
10	5月16日	市内企業の経営者	6	0	6
11	5月18日	市内企業の若手従業員	5	1	6
12	5月20日	江別市女性団体協議会	6	1	7
13	5月21日	市内各大学の学生	8	1	9
14	5月23日	介護予防サポーター	5	1	6
15	5月24日	社会福祉法人江別市社会福祉協議会	4	1	5
16	5月30日	江別認知症の人の家族を支える会 （かけはしの会）	6	1	7
17	6月 9日	J A道央・J A道央青年部	5	1	6
18	6月13日	江別市私立幼稚園PTA連合会	4	1	5
19	6月14日	市内各高等学校の生徒（1回目）	8	0	8
20	6月29日	経験豊富な農業者	6	1	7
21	7月 6日	野幌地区自治会連絡協議会	5	1	6
22	7月 8日	子育て中のパパ・ママ （子育て支援センターすくすく利用者）	4	1	5

番号	実施日	グループ	出席者	若手職員	合計
23	7月12日	江別地区自治会連絡協議会	5	1	6
24	7月19日	江別視覚障害者福祉協会	4	0	4
25	7月19日	市内各高等学校の生徒（2回目）	10	0	10
26	7月21日	市内各中学校の生徒	8	0	8
27	7月21日	地域の医療・介護に携わる方	6	1	7
28	7月24日	子育て中のパパ・ママ（保育園の利用者）	4	1	5
29	7月25日	大麻地区自治会連絡協議会	5	0	5
30	7月27日	江別身体障害者福祉協会	4	1	5
31	7月29日	江別市PTA連合会	3	1	4
合 計			160	24	184

※ 令和4年1月27日から3月21日まで、北海道におけるまん延防止等重点措置の適用期間

3 テーマについて

ミーティングでは、「江別市の強み・弱み」と「人口減少が進む中で、江別市が力を入れるべき分野」を共通のテーマのほか、グループ特有のテーマを設定して、さまざまなご意見をお聞きしました。

なお、全31回のミーティングのうち、26回でグループ特有のテーマを設定して意見交換を行いました。

Ⅱ 共通のテーマで出された意見

1 江別市の「強み」「弱み」

「強み」で最も多く挙げられたのは、「札幌市に近い、札幌市への交通アクセスが良い」でした。そのほか、「自然が多い、自然が身近にある」や、「子育て環境（教育）が良い、子育て世代に支持されている、子育て世代の転入が多い」などが挙げられました。

一方、「弱み」で最も多く挙げられたのは、「雪が多い、雪対策や除雪」でした。そのほか、「特徴がない、観光地(宿泊施設)が少ない」や、「札幌市に頼りがち、札幌市に目を向けがち、札幌市と比較されがち」などが挙げられました。

順位	江別市の「強み」 上位10位
1位	札幌市に近い、札幌市への交通アクセスが良い (68)
2位	自然が多い、自然が身近にある (34)
3位	子育て環境（教育）が良い、子育て世代に支持されている、子育て世代の転入が多い (31)
4位	日用品店など店が多い・揃っている (26)
5位	大学が四つある、大学生が多い、大学生との連携・交流がある (24)
6位	全体的に交通アクセスが良い (22)
7位	公園が多い、大きな公園がある (21)
8位	小麦がおいしい・有名、農産品や魅力ある食がある (20)
9位	魅力的な店がある・増えている（パン屋、カフェ、江別蔦屋書店など） (16)
10位	住宅地が比較的安い、広めの住宅地を購入することができる (15)

順位	江別市の「弱み」 上位10位
1位	雪が多い、雪対策や除雪 (37)
2位	特徴がない、観光地（宿泊施設）が少ない (27)
3位	札幌市に頼りがち、札幌市に目を向けがち、札幌市と比較されがち (25)
4位	市内の公共交通、車がないと不便 (23)
5位	企業が少ない、就職先が少ない (20)
6位	大学生が卒業後、市外に転出する (18)
7位	地域の差（高齢化が進んでいるところがある、江別・大麻地区がさびしい） (15)
8位	情報発信力が弱い・上手くない、知られていない (14)
9位	バスが不便 (13)
10位	公園の遊具やトイレなどの設備、公園の管理 (11)

※（ ）の中の数字は、各ミーティングの中で関連する意見があった回数です。

<江別市の「強み」の主な内容>

第1位：札幌市に近い、札幌市への交通アクセスが良い

- 札幌市に近い。(聴力障害者協会)
- 札幌市へのアクセスが良い。(経験豊富な農業者)
- JR 1本で札幌市まで行けるといふ、アクセスの良さ。(青年会議所)
- 自然が豊か。札幌市に近いので、大きな病院やデパートも、自家用車で出かける人にとっては便利。(シルバー人材センター)
- JRを利用して少し移動すると、デパートにも行ける。(SOGIの会)
- 札幌市が近くて、いろいろな用事を済ませやすい。(聴力障害者協会)
- 札幌市に近くて、札幌市までの交通アクセスが良い。(空色クラブ)
- 都心への交通アクセスが良い。JR駅もあり、新千歳空港にも近い。(空色クラブ)
- 他の自治体が定住策を行っている中で、江別市は恵まれている。近隣の他市と比較しても札幌市に近い。江別市を定住場所として選んでいただいている中、住んで良かったと思ってほしい。(市内企業の経営者)
- 交通が便利で、札幌市に近い。(介護予防サポーター)
- 札幌市に近く、交通アクセスの利便性が高い。生活していて、とても便利なまちだと思う。(JA道央・JA道央青年部)
- 札幌市に近いことと、JRの本数が多いこと。(私立幼稚園PTA連合会)
- 札幌市にもJRを使うと約30分で行ける。(市内高校の生徒)
- 市内をJRが通り、札幌市にも近く、洋服を買いに行く時にも困らない。(市内高校の生徒)
- 大消費地の札幌市に近いことは強み。国道も道道もあり、交通アクセスが良い。国道275号沿いで直売所を運営しているが、利用者の8割は市外の方。(経験豊富な農業者)
- 札幌市に近い。買い物がしやすく、地価も比較的安く、緑もあって、転入者が多い。(まちづくり関係団体)
- 住みやすいということが強み。札幌市に近いことが大きい。(介護予防サポーター)
- 札幌市に近いことが、強みであり弱みでもある。(江別市PTA連合会)
- 札幌市に近くて、JR駅やバス停が近くにあれば札幌市に行きやすく、通勤もしやすい。(保育園の利用者)
- 札幌市に近くて、ベッドタウンに最適であること。札幌市に近いけれど、緑が多く、高い建物があまりないので視界が開けていて、静かで住みやすい。(市内中学校の生徒)
- 子育て世帯にやさしい。保育園の数も増えており、札幌市が近く、子育て支援も手厚い。(野幌地区自治会連絡協議会)
- 市域が細長い市なので、近い所と遠い所があるが、総じて、札幌市は通勤圏であり、ベッドタウンとして支持されている。(江別地区自治会連絡協議会)
- 大都市の札幌市に隣接していることは強み。(野幌地区自治会連絡協議会)
- 都市部へのアクセスがとても良いことと、静かで住みやすい。(市内中学校の生徒)

第2位：自然が多い、自然が身近にある

- 自然が豊か。(シルバー人材センター)

- 自然がすぐそばにある。(市内企業の経営者)
- 野幌森林公園など身近に自然がある。(市内大学の学生)
- 野幌原始林があるなど自然環境が良いところ。(かけはしの会)
- 定年退職された高齢の方が多いが、自然の中で犬と散歩している姿などを見ると、自然環境の良さを感じる。(J A道央・J A道央青年部)
- 大自然が残されていること。野幌森林公園はすばらしい。(大麻地区自治会連絡協議会)
- 野幌の原始林、石狩川、農業と住宅地のバランスなど、環境が良いことが強み。(身体障害者福祉協会)

第3位：子育て環境(教育)が良い、子育て世代に支持、子育て世代の転入が多い

- 子育て世代の転入が多い。(介護予防サポーター)
- 子どもの転入が多いということは、子育てがしやすい、住みやすいまちとして支持されているからだと思う。(市内企業の若手職員)
- 小さい子どもがいる家族が転入してきている。保育園や幼稚園、学校など教育環境が充実していると思う。(市内中学校の生徒)
- 札幌市に近く、土地が安いので、若い人の転入が多いことも強みだと思う。(かけはしの会)
- 野幌公園、飛鳥山公園、四季のみちもあり、子育て世代には良い環境だと思う。(青年会議所)
- 子育て環境が充実している。子育てひろば「ぽこあぽこ」などの施設もあり、子育て世帯には良いのではないか。(まちづくり関係団体)
- 江別市子育てひろば「ぽこあぽこ」も便利だという声を聞いたことがある。(子育て支援センターすくすく利用者)
- 江別市子育てひろば「ぽこあぽこ」ができ、市外から遊びに来る人も多いなど、子育て環境が整ってきている。(女性団体協議会)
- 子育て世帯からは、のんびりしていて過ごしやすいという声を聞く。(まちづくり関係団体)
- 江別市は緑が多くて、広々としており、子育て環境が良い。(聴力障害者協会)
- 子育て環境が良く、都会も近くて自然もある。(市内企業の経営者)
- J Rも道路も、札幌市への交通アクセスが良く、子育て環境が整っている。保育園も増加しており、産後ケア事業も行われているので、子育て世代が転入してくるのでは。(市内企業の若手職員)
- 学校の規模がそれほど大きくなく、ちょうど良い。その中で、子どもたちも自由に、積極的に学校生活を送っている印象を持っている。(江別市P T A連合会)
- 学校の教育で、A L T (外国語指導助手)の授業が頻繁にあること。(市内中学校の生徒)
- 江別市内の小中学校の学力テストの成績が良いと聞いている。それぞれの高校の特長を生かした取組に重きを置いてみては。(市内企業の経営者)
- 小学生の時、社会見学でレンガ工場やブロッコリー畑などを見学したことを覚えており、江別市を知る機会があって良かったと感じている。(市内大学の学生)
- 学問が優秀な学校、スポーツの成績が良い学校があるなど、若い世代が入ってくる環境が整っている。(S O G Iの会)

第4位：日用品店などの店が多い・揃っている

- ないものがないところ。大体ものが揃っている。(SOGIの会)
- ちょっと行けば遊ぶところ、買い物をするところなどがあって、基本的には過不足なく生活できる。(青年会議所)
- 商業施設が点在しているほか、交通渋滞が比較的少なく、車での買い物がしやすい。(まちづくり関係団体)
- 商業施設が多く、何か買おうとする時、江別市内で完結できることも多い。(社会福祉協議会)
- 比較的スーパーマーケットが多いので、高齢者も自分で買物に行くことができる。(かけはしの会)
- スーパーマーケットがいっぱいある。(市内高校の生徒)
- コンビニエンスストアや飲食店が近所に多くある。(市内高校の生徒)
- スーパーマーケットや映画館があって、買物や娯楽に困らず、過ごしやすい。(市内高校の生徒)
- 自家用車に乗れば10分位行くと、スーパーマーケットが10か所ぐらいある。(江別地区自治会連絡協議会)
- JR野幌駅周辺は店も多く、映画館もあり、適度に娯楽も楽しめる。観光地ではないことが、住みやすきの要素になっているかもしれない。(江別地区自治会連絡協議会)
- いろんな医療機関がまんべんなく揃っていることが強み。(地域の医療・介護に携わる方)

第5位：大学が四つある、大学生が多い、大学生との連携・交流がある

- 文教都市という一面があり、大学四つと短大一つがあり、学生が入れ替わることで若い人々の柔軟な考えがうまく循環している。新たな考え方が生まれるのも強み。(青年会議所)
- 大学生が多い。(まちづくり関係団体)
- 四つの大学があることは強み。手話講習会にも大学生が参加してくれている。(聴力障害者協会)
- 江別市内に大学が多くある。(空色クラブ)
- 大学生が多く、大学生が江別市役所の方や地域の方と関わる機会も多いことが魅力。(市内大学の学生)
- 学生が多い。(市内大学の学生)
- 大学連携の授業もあることも強み。(市内大学の学生)
- 大学が集まっていて、相互に交流しやすい。しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大により大学相互の交流が少なくなったことは残念。交流の場があっても知らない学生も多く、もったいないと思う。(市内大学の学生)
- 大学が多いことが強み。(かけはしの会)
- 狭い範囲に大学が四つある地域は珍しいのではないか。大学生の発想と行動力は素晴らしく、大学生は江別市の財産だと思う。(JA道央・JA道央青年部)
- 四つの大学があって、学生が多いこと。(視覚障害者福祉協会)
- 大学生が卒業後出て行ってしまいう状況も見られるが、他の市町村では、そもそも出て行くばかりのところも多いので、一旦ではあるが市外から学生を集めることがで

きることは強みだと思う。(地域の医療・介護に携わる方)

- 大学生が多く、こども食堂などを研究の一環としてやっていることも強みだと思う。(地域の医療・介護に携わる方)

第6位：全体的に交通アクセスが良い

- どこにでもアクセスできる主要な道路が多く交わっている。北海道内でもあまりない。地理的、物流面でとても良い。(青年会議所)
- 交通アクセスが良い。(市内大学の学生)
- 札幌市の近郊に位置して、どこに行くにも整った道路環境があり、交通アクセスが良い。(JA道央・JA道央青年部)
- 新千歳空港に近い立地の良さ。(JA道央・JA道央青年部)
- 札幌市に近いが、それ以外の地域にも行きやすく、都会にも田舎にも行きやすい。(市内高校の生徒)
- 大消費地である札幌市に近い。農作物を早く出荷することができる。港がある苫小牧市や、空港がある千歳市にも近いので、本州にも出荷しやすい。(経験豊富な農業者)
- 東西南北のゴルフ場に30分以内で行くことができ、札幌市が近い。(経験豊富な農業者)
- 道路や鉄道の交通アクセスが良く、札幌市も近い。高速道路のインターチェンジも二つある。(女性団体協議会)
- インターチェンジも二つあるので、子どもを連れて市外の遊び場に行く時のアクセスが良い。(子育て支援センターすくすく利用者)

第7位：公園が多い、大きな公園がある

- 江別には、大きな公園が多いことが強み。(自立支援協議会)
- いろいろな公園に行くことができる。(女性団体協議会)
- 公園が多く、規模の大きい公園もある。(社会福祉協議会)
- 比較的大きな規模の公園もあり、子どもを育てるには良い環境だと感じている。(身体障害者福祉協会)
- 公園が多い。遊びやすい公園が増えていると感じている。(子育て支援センターすくすく利用者)

第8位：小麦がおいしい・有名、農産品や魅力ある食がある

- 江別産、江別ブランドの商品が増えている。(市内企業の若手職員)
- パン屋さんが多い。(自立支援協議会)
- 東京都心のパン屋さんでも「北海道江別産」と書いてあるらしい。ただ、小麦(グルテン)が健康によくないというイメージが広がっていることが、将来的には心配。(江別地区自治会連絡協議会)
- 江別産の小麦の質が良い。本州でも、江別産の小麦を取り寄せて使っているパン屋さんがある。(SOGIの会)
- トンデンファームをはじめ、小麦など、いろいろな美味しいものがたくさんある。(市内企業の若手職員)
- 牛乳をチーズやヨーグルトに加工するなど六次産業化に取り組みやすいまちだと知った。(市内大学の学生)

- ブロccoliや小麦が有名。(身体障害者福祉協会)
- 江別市内の農業者が頑張っていて、江別産の農産物が有名になっていることは良いことだと思う。(視覚障害者福祉協会)
- 野菜が買える大規模な直売所も三つあり、町村農場や小林牧場のよう、自分たちでいろいろな加工品をつくっているところもある。(身体障害者福祉協会)

第9位：魅力的な店がある・増えている

- 江別蔦屋書店は若い人に人気だが、年配者も刺激を受ける場である。河川防災ステーションにあるエベツ百貨店も、江別市内で生産された商品が安く販売されていて良い。(女性団体協議会)
- 小麦が有名で、カフェや喫茶店などの評判が良い。若い人だけではなく、年配の方もお店を利用していることが多く、とても良い空間だと思う。(私立幼稚園PTA連合会)
- 江別蔦屋書店のような、行って楽しいお店ができた。(市内高校の生徒)
- パン屋やお菓子屋さんが増えている、話題になっている。(保育園の利用者)
- 札幌市からもお客さんが来ている店がある。隠れ家的な要素を生みやすい環境なのでは。ただ、交通手段が自転車である中高生には行きづらい。(江別市PTA連合会)
- 大麻地区に札幌市からも食べに来る店があるなど、隠れた魅力があるがメジャーではない。(江別市PTA連合会)
- パン屋が多く、乳製品も豊富だと感じている。(江別地区自治会連絡協議会)

第10位：住宅地が比較的安い、広めの住宅地を購入することができる

- 札幌市等と比べて土地が安く、家を建てやすい。(青年会議所)
- 比較的広い住宅地を確保しやすかった。(まちづくり関係団体)
- 土地の値段が札幌市より安い。(SOGIの会)
- 知名度が高い札幌市に近く、札幌市に比べて土地が安いので、購入しやすい土地を求めて転入して来る人が多い。(社会福祉協議会)
- 札幌市に近いが、家が建てやすい。適度に田舎で、ちょっと行けば田畑や牧場もある。(江別地区自治会連絡協議会)

その他

【バランス】

- ちょうど良い田舎が魅力的。ちょっと行けば畑があって、美味しい新鮮な野菜を食べられる。(青年会議所)
- 市民活動がしやすい人口規模。(まちづくり関係団体)
- ほど良く田舎で、ほど良く都会だと思う。子どもを育てやすい環境だと思う。(聴力障害者協会)
- ちょうど良い人の混み具合であることが強み。(市内企業の若手職員)
- バランスが良いまちだと思う。札幌市ありきになっていることや、自家用車がないと不便な地域があること。(市内大学の学生)
- ゆったりと江別市で生活しながら札幌市にも行きやすい。(介護予防サポーター)
- 市街地と緑地のバランスが良く、落ち着いて暮らしやすい。(社会福祉協議会)
- 野幌森林公園などの自然豊かな場所がある一方で、大都市の札幌市にも近く、都市と自然の調和がとれている。(市内高校の生徒)

- いろいろな意味で程よい。人も多すぎず、心地よく住んでいる。公園は古かった遊具が新しくなっており、子どもたちと外で遊びやすい。(保育園の利用者)
- 生活の便利さと、ほどよい自然が両立している。(子育て支援センターすくすく利用者)

【市民性、市民活動】

- 若い人が多く、チャレンジすることに寛容で、いろいろな活動をしやすい。(まちづくり関係団体)
- 犯罪が少なく、優しい人が多い。大麻地区は高齢者の方が多くて、助け合いがあり、特に優しさを感じる。(空色クラブ)
- 「江別市の子どもはゆったりとしているね」と言われたことがある。自然の中で育っているからかもしれない。(女性団体協議会)
- 地域の方と遊びの会に参加した時、江別市を好きな人が多いというイメージを持った。そのような人たちと交流したら、もっと江別市を好きになるのではないかと思い、もっと交流したいと思った。(市内大学の学生)
- 元気な高齢者が多い。また、高齢者が集い、活動できる機会や場所が充実している。(かけはしの会)
- ボランティア活動に関心を持っている大学生が多いが、江別市民よりも市外出身の一人暮らしの方が多いことが、江別市民の自分としては残念。(社会福祉協議会)
- 住んでいる方は、みな優しくて温かいと感じている。札幌市の方にも「江別市、良いですよ」と勧めている。(保育園の利用者)
- 地域活動が盛んな印象がある。愛のふれあい交流事業も各地区で実施率が高い。(地域の医療・介護に携わる方)
- 転出者数より転入者数が上回っているので、農業や商業施設を中心に、市民の活動が盛り上がっていくと思う。(市内中学校の生徒)

【住みやすい】

- 住みやすいことが強み。アルバイトで地域の人たちと関わると、江別市は住みやすく、マイホームを建てる場所として適しているという声を聞く。(市内大学の学生)
- 江別に住んでいると穏やかさを感じる。過ごしやすさは強みだと思う。(シルバー人材センター)
- 住み心地が良く、不自由を感じない。(市内大学の学生)
- 住環境としてはとても静かでいい。(手をつなぐ育成会)
- 江別市は大好きで、どこかに行くにも、住むにもとても良い環境だが、自分で住んでいるとなかなか気づかない。(女性団体協議会)
- 去年の学校祭で、「江別市は住みやすいのか」を、いろいろな観点から調べ、独自に行ったアンケートでも、住みやすいという回答が多かった。(市内中学校の生徒)

【災害が少ない】

- 札幌市に近く、緑や公園が多く、山が近くになく海もないので、自然災害が少なく、安心して生活できる。(私立幼稚園PTA連合会)
- 災害が少ないところが良い。ただし、災害が起こった時に避難するところが足りないのではないかと心配。(聴力障害者協会)
- 水害に対して強く、一部を除いて心配はない。(野幌地区自治会連絡協議会)
- 津波が来ないことは強み。(地域の医療・介護に携わる方)

- 南海トラフによる地震の発生を恐れている人が多い中、江別市は、大雪の被害はあるものの、災害の発生があまりない土地であることが強み。(江別地区自治会連絡協議会)

【景色、景観】

- 大麻東中学校、自動車学校のあたりからの、札幌方面を見た景色がとてもきれい。写真を撮りに来る方もいる。(SOGIの会)
- 森林公園、四季のみちのほか、イチョウ並木や桜並木、ナナカマドなどの樹木がきれいな景色もたくさんある。江別市の良さをもっとアピールしてほしい。(女性団体協議会)
- 空が広い。どこにでも緑があって、落ちついて過ごせる。面積的にもゆとりがあって過ごしやすい。(SOGIの会)

【コンパクト】

- コンパクトでシンプルなまちであることだと思う。住んでいると落ち着く。(自立支援協議会)
- 比較的コンパクトにいろいろなものが集約されている。(介護予防サポーター)
- 認知症を勉強する機会が、全道の市町村の中でも大変多いと思う。(かけはしの会)
- まちがコンパクトで、ある程度のものが揃っている。(身体障害者福祉協会)

【産業、地域経済】

- 農業や工業がかなり充実していて、基幹産業がしっかりしている。(江別市PTA連合会)
- 市内に食料を生産する農地がある。季節によっては風が強いが、そのおかげで空気がきれい。(経験豊富な農業者)
- 大きな企業が少ないことは弱みではあるが、産業の景気の善し悪しに影響されず、まちづくりを考えることができるという強みでもある。(介護予防サポーター)

【その他】

- 江別市に来てくれて、レンタサイクル事業を利用して観光していた人が結構いた。(まちづくり関係団体)
- 地域ごとの特徴がはっきり分かれているところがユニークだと思う。(SOGIの会)
- JR野幌駅が新しくなって、バスの乗り換えが以前よりもしやすくなった。以前よりも運行に関する情報が伝わりやすくなった。(聴力障害者協会)
- JRの路線が札幌市のように複雑ではないので、利用しやすい。(市内高校の生徒)
- ごみの収集が徹底されていると思う。(シルバー人材センター)
- 臭いの問題が改善されたことは、移住を勧めるPR要素になる。(市内企業の経営者)
- 道外出身で、初めて大雪を体験した自分にとっては、夜にあれほど道路に積もっていた雪が朝にはなくなっていて、すごいと思った。除雪も手伝うことがあれば手伝いたいと思った。(市内大学の学生)
- 他の自治体に比べて人口減少の減り方が小さい。(社会福祉協議会)
- 「広報えべつ」の内容が充実しており、毎月楽しみにしている。(かけはしの会)
- 介護保険内・保険外ともに、支援サービスがそれなりに整っている。(地域の医療・介護に携わる方)
- 交通事故、特に死亡事故が少ない。(野幌地区自治会連絡協議会)

- 江別市に住んでいて、困ることがないことが強み。(地域の医療・介護に携わる方)
- 車で行く時、駐車場に停めやすいなど、ゆとりがある。(子育て支援センターすくすく利用者)
- 石狩平野の中央の平地で、気候もある程度安定しており、人口規模の割には保育園や学校、公民館などが多い。(身体障害者福祉協会)
- 土地が広い。(介護予防サポーター)
- 大泉洋の出身地であることは強み。(地域の医療・介護に携わる方)

<江別市の「弱み」の主な内容>

第1位：雪が多い、雪対策や除雪

- 除雪体制を改善してほしい。(市内大学の学生)
- 雪が多いと移動にデメリットを感じることもある。(シルバー人材センター)
- 自治会の会議でも話題は雪対策のことばかり。歩道の除雪が間に合っていなかったほか、時間の制約で除雪の途中で帰ってしまうこともあった。(シルバー人材センター)
- 大雪で、JRが運休してしまう。地下鉄があると良いと思う。(市内高校の生徒)
- 大雪が降った時に除雪が来るのが遅いと感じる。(市内高校の生徒)
- 大雪が降ると、車もJRも移動が難しくなることがある。(市内高校の生徒)
- 今年の大雪で、自宅の車庫が半壊したが、両親が高齢のため除雪ができずに困った。(市内高校の生徒)
- 若い時は自分で除雪できたが、今は難しい。(聴力障害者協会)
- 雪が多く、独居や障がい者の方の命に関わることにつながることも心配。(聴力障害者協会)
- 除雪については、市民のマナーも悪いと思う。冬、車を運転していると、家の前の道路に平気で雪を捨てている人がいる。(シルバー人材センター)
- 今年は除雪が進まず、学校が休みになったりしたので、もう少し力を入れてほしい。(市内中学校の生徒)
- 除雪が問題と言うより、雪の量が多い。(地域の医療・介護に携わる方)

第2位：特徴がない、観光地(宿泊施設)が少ない

- 特色って何だろう?と考えないと出てこない。(自立支援協議会)
- 江別市と言えばこれ、という知名度が高いものがない。(社会福祉協議会)
- 住み良さが評価されているが、全国的に知名度の高いものが少ない。(JA道央・JA道央青年部)
- 商業施設は結構あるが、江別の観光はここだ、という明確なところがあまりない。(青年会議所)
- 有名なイベントや店など目玉となる名物が少ない。(空色クラブ)
- 有名な観光スポットがなく、道の駅もない。(市内企業の若手職員)
- ワンストップ型の都市ではない。他の市町村では魅力的な道の駅などがあるが、そのようなものと比較すると、江別市に立ち寄る魅力は少し乏しいのでは。(市内企業の若手職員)

- 江別市に立ち寄ることが少ない。(市内企業の若手職員)
- 江別市は特徴が乏しい。(女性団体協議会)
- 外から見た時に魅力が少ない。(市内大学の学生)
- 観光の目玉がない。野幌原始林や野幌森林公園があるが、観光資源としてうまく生かされていないと感じる。(介護予防サポーター)
- 柔軟性がある。ちょっとつかみどころがないところ。子育てがしやすい、遊び場が充実しているなど、いろいろな良さがあるが、魅力が分散されている。(女性団体協議会)
- いろいろなものが過不足なくあることは強みだが、それらが繋がっていない。(青年会議所)
- 「江別市と言えばこれ」というものがない。(視覚障害者福祉協会)
- 観光スポットが増えると、もっと江別市が活性化していくと思う。(市内中学校の生徒)
- 観光ポイントとなるドッグランがない。(野幌地区自治会連絡協議会)
- 町村にはよく、おしゃれな民泊があるが、江別市にはない。誰もが一度は泊まってみたいと思うような、おしゃれな宿泊施設があれば。(地域の医療・介護に携わる方)
- 市内に宿泊できるホテルが少ない。市外から来られた方に紹介する宿泊先や食事場所が少ないと感じている。(かけはしの会)
- いろいろなイベントはあるが、市外から多くの人を呼んでお金を使ってもらえるようなイベントはない。(大麻地区自治会連絡協議会)

第3位：札幌市に頼りがち、札幌市に目を向けがち、札幌市と比較されがち

- 札幌市に近いことは、同時に弱みでもあると思う。(空色クラブ)
- 札幌市に近いことは、江別市にとって、強みでもあり、弱みでもある。(自立支援協議会)
- 札幌市に隣接していることは強みだが、江別市の独自性を発揮するには、弱みになっている。(身体障害者福祉協会)
- 札幌市の隣ではあるが、札幌市ありきの部分もある。(市内企業の若手職員)
- 札幌市にアクセスしやすいため、札幌市になびいてしまう。(シルバー人材センター)
- 札幌市に近いゆえに、江別市に愛着がないと、札幌市に目が向いてしまいがち。(まちづくり関係団体)
- 在職中は大麻地区から札幌市に通勤し、買物も札幌市で済ませていたため、退職するまでは野幌地区や江別地区に目は向かなかった。(大麻地区自治会連絡協議会)
- 札幌市と比較されることが多い。(聴力障害者協会)
- ホームレス、引きこもりの支援団体など。いろいろな意味で札幌市に依存しているので、いざという時に頼れるところが身近にない。(SOGIの会)
- 札幌市に近いことは弱みでもあり、大麻地区だと、買物などは、野幌地区ではなく札幌市に行ってしまう。(市内企業の若手職員)
- 大学が大麻・野幌地区に集まっており、大学生には新札幌の方が近く、江別地区まで行くことが少ないことが残念。(市内大学の学生)
- 大きな買物をする時に、江別市内の店舗だと少し物足りずに札幌市に行ってしまう。(私立幼稚園PTA連合会)
- 札幌市に近いことの他に強みが思い浮かばない。江別市には子育て支援のメリット

- を特に感じないので札幌市を選んだという人もいる。(私立幼稚園PTA連合会)
- 札幌市が近いので札幌市に働きに行ってしまうので、産業が少ない。(介護予防サポーター)
 - 高価な物などは、札幌市で買えば良いと思っており、これが税込減や雇用に影響している。(野幌地区自治会連絡協議会)
 - 札幌市に近いために、お金が札幌市に流れてしまうし、地価が上がってしまっている。(視覚障害者福祉協会)
 - 札幌市に近いので、患者が札幌市に流れてしまう。(地域の医療・介護に携わる方)
 - 札幌市に近い一方、医療機関は札幌に行けばある、という考えになるので、弱みとしても捉えられる。(地域の医療・介護に携わる方)
 - 医療機関は新札幌が近く、そちらのほうが充実しているので、どうしても新札幌の病院に行ってしまう。(手をつなぐ育成会)
 - 要望内容が札幌市と同様になってきている。(野幌地区自治会連絡協議会)

第4位：市内の公共交通、車がないと不便

- きめ細やかな交通網や道路網の整備が弱いと思っている。(身体障害者福祉協会)
- 市内の公共交通手段が十分ではない。(女性団体協議会)
- 年をとっても暮らしやすいか心配。移動や買物を自分でできるように、公共交通などがもう少し保障されると良い。(社会福祉協議会)
- 交通手段が少ない。今後、自動車を運転できなくなると心配。(女性団体協議会)
- 自家用車がないと不便。(まちづくり関係団体)
- 車が必須のまちである。(SOGIの会)
- 市内での移動は、車がないと不便。今後、公共交通機関の便数がさらに減ると、高齢者にとって非常に不便だと思う。(私立幼稚園PTA連合会)
- 公共交通機関だけで移動しようとする、江別蔦屋書店や大型ショッピングセンターに行きづらいことが残念。(JA道央・JA道央青年部)
- 江別蔦屋書店などがあっても、自家用車を持たない人には行きづらい。(保育園の利用者)
- 公園など自然に触れられるところが近くにある。買物の場もあり、江別蔦屋書店など市外から人が訪れる施設もあるが、駅から離れたところにあるため、車のない人は行きづらい。(経験豊富な農業者)
- JR駅から離れたところに家を建てる子育て世代が一気に増えている中、この世代が定着すると、今よりもっとJR駅から離れたところが高齢化し、30～40年後に交通弱者が増えるという状況が来る。(江別地区自治会連絡協議会)
- JR駅の周辺に住んでいる人は札幌市まで通いやすいかもしれないが、JR駅から離れている人は不便だと思う。(子育て支援センターすくすく利用者)
- 自分も後期高齢者になる中、車の運転免許証を返納した後、公共交通が充実しているかどうか不安。(野幌地区自治会連絡協議会)
- 弱みは、移動手段。歩行困難者にとっては、デマンド型交通を利用しても、降車地点から目的地までの移動や乗り換えが難しい。(身体障害者福祉協会)
- 豊幌地区にはデマンド型交通があるが、年会費がかかる。市営バスのような気軽に利用できる交通手段があれば、もっと住みやすくなり、強みになるのではないだろうか。(身体障害者福祉協会)

- 交通アクセスが非常に弱いと昔から思っている。将来、子どもが通学することを考えると、不便さを感じている。(子育て支援センターすくすく利用者)

第5位：企業が少ない、就職先が少ない

- 産業が少ない。(経験豊富な農業者)
- 江別市で働き手を残せない、若い人を保てない。(青年会議所)
- 義理の息子が江別市内で就職先を見つけようとしたが、見つからず、結局、札幌市内で就職した。(シルバー人材センター)
- 柱になるような産業がない。(かけはしの会)
- 江別市に住んでいるが、勤め先は札幌市という人が多い。江別市内に大きな会社が比較的少ない。(JA道央・JA道央青年部)
- 生活を支えるような企業はあるが、世界に向かっていくような、お金を稼ぐ企業がない。これから発展するであろう産業を優遇して誘致してはどうか。(大麻地区自治会連絡協議会)
- 大企業が少ないので税収が少ない。(子育て支援センターすくすく利用者)

第6位：大学生が卒業後、市外に転出する

- 大学生は多いが、札幌や道外に離れてしまう。(青年会議所)
- 四つの大学があるが、卒業すると市外に転出してしまう。(自立支援協議会)
- 学生が卒業後、市外に転出してしまう。江別市に残って定住するにはどうすれば良いかが課題。(まちづくり関係団体)
- 卒業後、大学生が江別市外に転出し、定住しないことは弱み。(聴力障害者協会)
- 卒業後、市内に就職するケースが少ないのでは。(市内企業の経営者)
- 大学生が卒業した後、江別市外に出ていってしまうことが、残念。(女性団体協議会)
- 大学生が卒業後、江別市に住む人が少ない。(市内大学の学生)
- 大学生が卒業後に市外に就職して転出することは残念。(介護予防サポーター)
- 大学生が就職を機に転出していくことが多い。(社会福祉協議会)
- 大学を卒業して市内で働く人が少ないと聞いているが、江別市でこのような取組を行っていますと大学生に伝える情報発信や取組のインパクトが弱いのでは。(かけはしの会)

第7位：地域の差

- 農家の人口がとても減っている。JR江別駅前、銀座通りだったのに、今はシャッター街になっている。自分が卒業した学校もなくなるなど、ここ何年かで地域の変化を感じる。(手をつなぐ育成会)
- JR江別駅付近は店が少ないと感じる。(まちづくり関係団体)
- JR江別駅周辺が寂しい。川も近くて観光でPRできる要素はある。いろいろと潜在能力が出し切れていないと思う。(市内企業の経営者)
- JR江別駅周辺の建物が老朽化している。再開発を検討すべきではないだろうか。(江別地区自治会連絡協議会)
- にぎわいを失ったJR江別駅周辺のイメージが悪いと思うので、JR江別駅周辺に活気を取り戻してほしい。(身体障害者福祉協会)
- 江別市全体でコンパクトになっていく時には、総合的に考えるべき。三つに分けると、無駄も多いと思う。(野幌地区自治会連絡協議会)

- 弱みは、大きな道路の沿線やJR野幌駅の周辺だけが賑わっていること。自然を大事しながら、江別市全体で賑わっていった方が良い。(市内中学校の生徒)
- JR江別駅周辺に空き地が多く、再開発が必要なのではないかと思う。(地域の医療・介護に携わる方)

第8位：情報発信力が弱い・上手くない、知られていない

- 観光やイベント、市街地のにぎわいなどの満足度が低い。市内企業の魅力を伝えることにもっと力を入れたら良いのでは。(市内企業の若手職員)
- 美味しいもの、素敵なところや魅力をアピールする力が弱い。(女性団体協議会)
- 江別市のことが知られていない。(介護予防サポーター)
- スイーツや特産品など素晴らしいものがあるが、江別市民だけが知っていて、市外ではあまり知られていないことが多い。大学へ就職説明会でも江別市の魅力をアピールしづらく、他の地域との差別化が難しい。(JA道央・JA道央青年部)
- 基幹産業がしっかりしていることを、江別市民が知らないこと。広報戦略が必要で、もっと上手にPRしたほうが良いと思う。(江別市PTA連合会)
- 江別市についての発信が遠慮がち。もっと発信力を高めてほしい。(身体障害者福祉協会)
- 江別市にはPRしきれていない良さがまだ多くあるので、もっとPRした方が良い。(地域の医療・介護に携わる方)
- 江別市のブランディングとして、何を目指しているのかが見えにくい。(地域の医療・介護に携わる方)
- 江別市出身なので、自分は江別市の特産品を知っているが、あまり出回っていないため知られていないことが残念。もう少しPRしてほしい。(子育て支援センターすくすく利用者)

第9位：バスが不便

- 近所には高齢者が多いが、バスの本数が少ない。高齢者支援に力を入れてしてほしい。(シルバー人材センター)
- 高齢者が増えている一方、路線バスの乗車人数は減っている。バス交通が不便になっているのではないか。(SOGIの会)
- バスの便数が少なくて困る。運転免許証を返納する方が増えてくると思うが、返納後、今の状況だと困ると思う。(聴力障害者協会)
- 市内を運行するバスの便が少ない。(かけはしの会)

第10位：公園の遊具やトイレなどの設備、公園の管理

- 大きな公園はあるが、大きな遊具のある公園は少ない。(市内企業の若手職員)
- 緑が多く、公園もたくさんあるが、小さな子どもが安全に遊べる遊具は少ない。(市内企業の若手職員)
- 湯川公園は、昔は水辺にいろいろな生物がいたが、今は水が汚れてきていると感じる。きれいな水が流れる公園にしてほしい。(子育て支援センターすくすく利用者)
- 乳幼児が遊べる遊具が少ない。(子育て支援センターすくすく利用者)

その他

【若者の遊び場・娯楽施設・店がない】

- 公園の遊具は新しくなると小さな子ども用の遊具になっているので、中学生が遊べ

ないものになっている。江別蔦屋書店や大きな公園などはあるが、高校生などの若者が遊べる場所が少ない。(市内高校の生徒)

- 店や大麻地区には喫茶店もあるが、全体として、中高生が集まってゆっくりと話せる場所が少ない。(私立幼稚園PTA連合会)
- 高校の帰りに寄ったり、休日に遊んだりする場がない。(市内高校の生徒)
- 大型アミューズメント施設などが無い。(市内高校の生徒)

【出産できる病院が1か所】

- 江別市内で出産できる場所が江別市立病院1か所しかない。(青年会議所)
- 小さな子どもを産める病院が江別市立病院しかなく、札幌で産んでいる人も多い。(シルバー人材センター)
- 子どもを産むことができる病院が江別市内に1か所しかない。(空色クラブ)
- 子どもを産める病院が一つしかなく、江別市で生まれる子どもも少ないのではないか。(江別市PTA連合会)

【病院、医療体制】

- 江別市立病院の赤字のことが新聞に載っており、これは策を考えないと大変なのではないかと心配している。(手をつなぐ育成会)
- 医療資源が少し乏しいと感じている。病院は多いが、救急搬送を受け入れるところが、人口規模の割に少なく感じる。(江別市PTA連合会)

【障がい者福祉】

- 市内で障がいのある方を、親切に診てもらえるような医療機関がないと感じる。医療面で困っている方たちを支えるような江別市立病院であってほしい。(手をつなぐ育成会)
- 障がい者(児)の支援窓口が少ない。(SOGIの会)

【高齢者福祉】

- 子どもを育てやすい環境だと思うが、高齢者にやさしくないまちだと思う。独り暮らしの高齢者の権利擁護に力を入れてほしい。地域での見守り体制を強化することも大切。(SOGIの会)
- 在宅での生活が厳しくなった高齢者が入所できる施設が少ないことも課題。(地域の医療・介護に携わる方)

【保育園など】

- 「小一の壁(子どもが小学校に上がると保育園時代に比べて、仕事と子育ての両立が困難になる)」がある。(保育園の利用者)
- 休職後、職場復帰の予定が確定していても、希望する保育園の枠を空けておいてもらうことができない。(保育園の利用者)
- 共働きの子育て世帯が増えているが、病児・病後児保育を実施しているところが2か所しかないため、病児・病後児保育を充実させれば、口コミで良さが広がると思う。(大麻地区自治会連絡協議会)

【担い手】

- いろんな医療機関がまんべんなく揃っていることが強みだが、人材を集めるのに苦労することは弱み。(地域の医療・介護に携わる方)
- ケアマネージャーのなり手がいない、または続かないことや、ヘルパーが少なく、

要支援の利用者宅に入ってもらえないことがある。(地域の医療・介護に携わる方)

【税金】

- 札幌市に働きに行ってしまう。江別市内に企業が増えず、その結果、江別市の税金が増えない状況にある。(女性団体協議会)
- 石狩管内の他市に比べて税金が少ない。(介護予防サポーター)
- 高齢化が進んで、年少人口が減ると、税金が少ないので、できる事業が減っていく。(江別地区自治会連絡協議会)

【宅地、地価が上がっている】

- 宅地がいっぱいになっているのであれば、また人口減少などの問題が出てくるのだろうか。(手をつなぐ育成会)
- 最近、地価が上がってきている。土地が安いというメリットが弱くなり、近隣の他市に行こうという流れが出るのでは。(市内企業の経営者)
- 札幌市に近いために、お金が札幌市に流れたり、地価が上がっている。(視覚障害者福祉協会)

【その他】

- 風の強さは、引っ越してきて実感している。(自立支援協議会)
- 江別市の住環境が恵まれていることに、市民はあまり気付いていないのでは。(市内企業の経営者)
- 子どもが大きくなってきて、不安だと思えるのが医療費。他の自治体では無料のところもある。ひとり親には給付金や就学援助などがあるが、その他の世帯は収入で制限される。もう少し、収入の程度によって支援を充実させてほしい。(保育園の利用者)
- JR函館本線が新札幌駅を通っていないことが不便。(市内高校の生徒)
- 水道料金が安いことと、農村部に行くと道路が悪い。近年は農業機械が大型化しているので、対応できるように改善を考えてほしい。(経験豊富な農業者)
- 学校で良く話題になることとして、不審者が多いこと。(市内中学校の生徒)
- JR江別駅周辺に買物をするところがないので、スーパーマーケットがあれば良いと思う。(子育て支援センターすくすく利用者)
- 高齢化が進む中で、買物難民が既に発生している。(野幌地区自治会連絡協議会)
- 子どもたちに、このまま江別市に残って仕事がしたいと思わせるような未来を見せる戦略が必要。(江別市PTA連合会)
- 文京台地区と大麻地区がJRの線路で分断されている。(大麻地区自治会連絡協議会)
- 地元で強いスポーツチームがないことが残念。また、障がい者が参加できるスポーツに、もう少し力を入れてほしい。老朽化したスポーツ施設も改修してほしい。(視覚障害者福祉協会)
- 生活支援スタッフや介護予防サポーター、認知症サポーターなどを市で養成しているが、その人たちを活躍させる仕組みが十分ではないと感じる。(地域の医療・介護に携わる方)
- 江別市は、札幌市に比べると、外国人にあまり認知されていないと思う。(市内高校の生徒)
- 札幌市の人々は、江別市のことを遠いと思っている人が多い気がする。(江別市PTA連合会)

2 人口減少が進む中で、江別市が力を入れるべき分野

最も多く挙げられたのは「子育て支援、教育」に関することでした。そのほか、「障がい者福祉、障がい者支援」、「働く場」や「情報の発信、PR」などが挙げられました。

順位	分野・取組 上位10位
1位	子育て支援、教育 (25)
2位	障がい者福祉、障がい者支援 (21)
3位	働く場 (16) 情報の発信、PR (16) ※2項目同数
5位	DX (デジタル・トランスフォーメーション) (11)
6位	観光 (10)
7位	アクティブシニア、高齢者の活躍支援 (9) 高齢者福祉、高齢者支援 (9) ※2項目同数
9位	子どもを産める産科 (8)
10位	公共交通 (7)

※ () の中の数字は、各ミーティングで関連する意見があった回数です。

<「江別市が力を入れるべき分野」の主な内容>

第6次江別市総合計画のまちづくり政策別にまとめました。

政策01 自然・環境

自然保護

- 自分が江別市を選んだ理由は、自然が多いこと。緑や自然を壊さないでほしい。(江別地区自治会連絡協議会)
- 環境に力を入れてほしい。江別市は人口の多い東京などと違って、自然があり、土地があり、公園が多くあるので、施設を作って人を呼び込んではどうだろうか。(市内高校の生徒)

景観

- 農村の風景を大事にしてほしい。農村の景観保全に力を入れてほしい。(市内企業の経営者)

クリーンエネルギー

- 風が強いので、風力発電に取り組みないだろうか。(地域の医療・介護に携わる方)

政策02 産業

産業全般

- 江別市には元気な高齢者もたくさんいるし、四つの大学の大学生もいる。それらの方々の力を借りながら、産業を盛り上げていくべき。(JA道央・JA道央青年部)
- 産業をつくるのが重要。(経験豊富な農業者)

- 農業と観光に力を入れていくことが重要では。農業団体と経済団体との結びつきがもっと深まれば良いと思う。(市内企業の経営者)

働く場

- 勤めるところがあることで人が集まると思うので、もっと企業誘致をするべき。(子育て支援センターすくすく利用者)
- 働き方が多様になっているので、いろいろな働き方ができる職場を増やしたり、多様な働き方への支援ができると良いと思う。(社会福祉協議会)
- 札幌市や東京などに行ってしまう若い人を引き止めるには、江別市内に魅力的な就職先がなければいけない。(大麻地区自治会連絡協議会)
- 産業分野では、企業誘致が最も効果的だと思う。(身体障害者福祉協会)
- 大学を卒業した後に、江別市内で働きたいと思えるような、魅力ある職場をもっと増やすことが必要。(身体障害者福祉協会)
- 卒業した大学生の就職先が江別市内にあったら良いのではないかと思う。(聴力障害者協会)
- 江別市内の働き口の確保が最優先。働きたい人が全員働くことができることがベスト。デジタル化の推進により、多様な働き方の拡充も必要。(市内企業の若手職員)
- 市が持つ施設をサテライトオフィスとして提供するなど多様な働き方ができる環境づくりを進めては。経済的なゆとりができると、出生率も上がるのでは。(市内大学の学生)
- 大きな会社が来て、働く場ができると良いが、札幌市に通勤している人にとって住みやすいことも大事。(介護予防サポーター)
- 大企業の誘致を。子どもが遊べるレジャースポット、IKEAなど。働く場があれば、市の財政が潤い、市外への転出も防ぐことができるのでは。(私立幼稚園PTA連合会)
- これから発展するであろう産業を優遇して誘致してはどうだろうか。
- 世界に通用する企業を誘致することが重要では。小麦とその加工品を手掛かりにして、国際的に通用する産業をつくるなど。(大麻地区自治会連絡協議会)
- 第二次産業の誘致が重要。(野幌地区自治会連絡協議会)
- 市内の就職情報がもっと調べやすかったり、市内での就職先がもっと増えたら良いと思う。(市内大学の学生)

農業

- 一次産業に向いているので、酪農と畜産を盛り上げる。(自立支援協議会)
- 新規就農者の定着率が100%のところは、営農支援だけではなく、教育の負担軽減など日常生活面でも助成を行っている。江別市でも検討してはどうか。(経験豊富な農業者)
- 江別市都市と農村の交流センター「えみくる」では、江別産の野菜を使って食育も行っているようで、とても良いことだと思う。(経験豊富な農業者)

商業

- 狸小路やすすき野のような、にぎわいのある場所ができる仕掛けがあると良いと思う。(介護予防サポーター)

遊び場、娯楽施設

- 国道12号、国道275号が通っているので、広い土地を生かして人を呼ぶものをつくってはどうか。大人も子どもも遊べる、アドベンチャー的な遊び場など。(女性団体協議会)
- 江別市内にカラオケや複合アミューズメント施設のように、体を動かし、声も出せるような、大人数で楽しめる施設があれば良いと思う。(市内高校の生徒)
- 屋内施設で、雑談するスペースと体を動かして交流できるスペースがあると良い。場所は、JR駅の周辺が良い。(市内高校の生徒)
- 子どもや学生が徒歩や自転車で行ける範囲に、「食」や「職」が体験できる遊び場ができるといいと思った。(江別市PTA連合会)

観光

- 札幌近郊の日帰りバスツアーに、江別蔦屋書店が入っているが、EBRI(エブリ)には地元産の商品や飲食店があるのに入っていないことが残念。(市内企業の若手職員)
- JR江別駅周辺が寂しい。JR江別駅の駅舎は、昔ながらの造りで、鉄道マニアとしては魅力があるそうだ。(市内企業の経営者)
- 国道12号と275号のほか、高速道路も通っており、JRも多くの人が利用しているので、その強みを生かさなければ、もったいない。人が溜まる、集まる、お金を落とすまちになると良いと思う。(JA道央・JA道央青年部)
- 今は、住むだけのまちになっている。ランドマーク的なものができれば、観光などで人の流れが増えるのでは。(JA道央・JA道央青年部)
- 人口減少が進むと札幌市周辺に人が集まる。あそこに食べに行きたいね、というところが市内に増えると良い。インターチェンジの周辺には魅力的な観光スポットがなく、もったいないと思う。(市内企業の経営者)
- 他のまちで満たされなかったものを満たしてもらおうことを考えていけば、江別市にも観光の要素があると思う。(市内企業の経営者)
- 観光名所があまりないので、観光名所を増やしたら良い。(市内中学校の生徒)
- 新しい視点として、観光開発をしてはどうか。人を呼んで、お金を稼ぐ。イベントの開催も取り入れて、市を挙げて開発観光に取り組んでほしい。冬場の対策として、大きな温室を作って、人を呼んではどうか。(大麻地区自治会連絡協議会)
- 観光スポットを巡回するバスがあれば、観光客も増えるのでは。(身体障害者福祉協会)

イベント

- イベントをしてほしい。やきもの市には若い子が行かない。肉フェスなど、若い人が行くようなイベントを開催してほしい。(市内高校の生徒)
- 子どもたちが楽しめるイベントをもっと増やしてほしい。(保育園の利用者)
- 自分は江別市でどのようなイベントが開催されているか知らない。ポスターやちらしを学校に配ったりするなど、イベントの開催をもっとPRしたら良いと思う。(市内中学校の生徒)
- 大学生と一緒に地域おこしをするなど、何かイベントがあれば地域の人でも参加できて良いのではと思う。(地域の医療・介護に携わる方)

道の駅

- 江別産の農作物やその加工品などのPRが必要ではないだろうか。そのためにも道の駅が必要だと思う。(空色クラブ)
- 江別市の特産品はいっぱいあるが、目にする機会はあまりない。北海道内には、道の駅がたくさんあるが、江別市でも設置を検討してほしい。(空色クラブ)
- 人を集めるには、ひきつける力が必要。道の駅など、江別市に行ったら楽しめる、もう一度行きたいというところがあれば良いのでは。(女性団体協議会)

起業支援

- 学生のうちに起業する人が増えていると聞いた。起業支援などできないか。(自立支援協議会)
- 大学にいる間に起業する人もいるので、起業しやすい仕組みや場所があれば、人口減少の抑制や産業振興が進み、高齢化率も下がるのでは。(身体障害者福祉協会)
- 若い人が起業して事業者が増え、市内の工事は市内の事業者でできるようになってほしい。(青年会議所)
- 大きな土地を必要としない企業も増えており、誘致するチャンスだと思う。ベンチャー支援などで働く場の拡大をめざしてほしい。(江別市PTA連合会)
- 若い人が个性的なお店を開いている。もう少しPRしてあげて、育てていくことも大事。(大麻地区自治会連絡協議会)

政策03 福祉・保健・医療

地域福祉

- いつか自分のためになるという気持ちが広がると、人とのつながりや支え合いも増え、関わる皆さんの幸福度が高まるのではないか。(社会福祉協議会)
- みんなが一つになれるような社会参加を企画してはどうだろうか。若い親たちは子育てを抱え込んで大変なので、地域で子どもを見守る仕組みを。(視覚障害者福祉協会)
- 助け合う輪を住民みんなで育てて、広げていってほしい。相手の気持ちになって行動する精神をみんなで作るようになってほしい。(視覚障害者福祉協会)
- 認知症対策に力を入れてほしい。江別市は、子どもから学生、お年寄りまで各世代が多くいるので、協働によって、支えたり、支えられたりできたら良いのではと思う。(地域の医療・介護に携わる方)
- 福祉・保健・医療を進めるために協働を進める。ヘルパーが入りやすいように基準や条件を緩和させる。そこに医療が入っていけるように連携を進めることが大事。(地域の医療・介護に携わる方)

高齢者福祉

- 高齢になっても誰もが住み続けられるまちづくりも必要。(社会福祉協議会)
- 高齢者が増える中、高齢者にやさしいまちであってほしい。(かけはしの会)
- 高齢者が安心して住み続けられるまちづくりが重要。(介護予防サポーター)
- 高齢者が健康な状態で、住み慣れた地域でできるだけ長く暮らせることが、より良い人生を送ることにつながるのではないか。調子が悪くなっても、医療体制が整っていたり、地域の連携ができていれば、安心して住めると思う。(SOGIの会)
- 地域の見守りについては、見守らなければならない方々に、地域に出てきてもらう

ことも大事。(まちづくり関係団体)

- 地域の見守り制度をより一層整えていくことが大事だと思う。(まちづくり関係団体)
- 70歳代から独居になる女性が多い。自分も、独居の高齢者にいかに社会参加してもらうか困ったことがある。いろいろな方がいることを踏まえて、社会参加を促していかなければならない。(介護予防サポーター)
- インターネットを使えない独り暮らしの高齢者の情報が見つからないことが問題。将来解消されていくと思うが、各地域でも見守りができているのか心配。(シルバー人材センター)
- 介護予防が重要。「フレイル」という言葉もだいぶん浸透してきている。独居でも、社会参加や地域とのつながりがある高齢者は良いが、地域とのつながりを拒んでいる方にどのような支援をしていくか、今後大事になってくる課題。(介護予防サポーター)
- 認知症の方も増えていく中、在宅支援をしていくことを考えると、「やすらぎ支援(認知症高齢者の見守り支援)」は重要。家族の方がわずかでも自分の時間を持つことができるので、担う役割は大きい。(かけはしの会)
- 空き家や団地の空き室を利用して、シェアハウスのように、住める場所をつくってはどうか。(かけはしの会)
- 高齢者の入所先が変わっていく時、家族の希望を聞いてくれて、適切に移動場所をつなげていくことを総合的に支援してくれる人や機関があれば良いと思った。(かけはしの会)
- 高齢者にもデマンド型乗合タクシーなどを検討してほしい。(空色クラブ)
- 身寄りのない高齢者が亡き後の相続について意識を高めるようにすることも重要。(地域の医療・介護に携わる方)

高齢者の活躍

- アクティブシニアが活躍できるように政策を進めていくことが大切。(JA道央・JA道央青年部)
- 江別市にはアクティブシニアが多いので、まちづくりにもっと協力してもらうことが重要。(経験豊富な農業者)
- いろいろなニーズをシルバー人材センターと上手くマッチングできるようにする。(シルバー人材センター)
- 高齢者の仕事の場がもっとあると良い。(社会福祉協議会)
- 高齢者でも元気な方はいるので、市でご高齢の方に仕事を提供していくことも大事。(市内大学の学生)
- スポーツ店でアルバイトをしているが、スポーツをしていて、元気で楽しそうな高齢者を見かける。江別市は自然豊かなスポーツ施設があるので、そのような場も活用しながら拠点をつくっていったらどうか。(市内大学の学生)
- 元気なお年寄りが再就職という形で、子育てや介護の関係職にもっと参加できるようになったら良い。無償のボランティアばかりでは続かない。地域の力で支えるため、元気なお年寄りが参加できる体制ができれば良いと思う。(身体障害者福祉協会)
- お年寄りにも働いてもらうことが必要になると思う。労働だけではなく、生きがいづくりや雰囲気づくりなどで活躍してほしい。(視覚障害者福祉協会)
- 小中学校から、水泳、スキー、裁縫などを学校で教える際に、地域の方に協力して

もらえないかと案内が来る。経験のある高齢者が子育てに関われるようになっていけば良いと思う。(身体障害者福祉協会)

障がい者福祉

- 子育て世代にやさしいまちであることに加えて、障がい者への対応などが更に良くなれば、多様性の観点から、魅力を高めることができるのでは。(市内企業の経営者)
- 健常者の中に障がい者が入り込んでいけるような場所や環境が増えていくと、皆さんの選択肢がもっと増えていいと思う。(自立支援協議会)
- 江別市の教育は充実しているものの、卒業後の就労の段階で、就職先が市内で見つからない。障がいのある方たちも働ける産業振興を、どんどん進めていただけるとありがたい。(手をつなぐ育成会)
- 災害が発生した時には、手話通訳をできる人は限られているので、聴力障がい者が避難する場所を、一つにまとめて設置してもらえたら。ただ、手話通訳者にも家族がいるので、手話通訳者に支援してもらうことは難しいとも思っている。手話通訳者への配慮が必要。(聴力障害者協会)
- 子どもたちの障がいを考えると、この先、親もだんだん年をとるため、心配。今後、子どもたちが満足できる支援をしていただけるかという不安がある。(手をつなぐ育成会)
- 手話をできるスタッフがいるような、聴力障がい者用の入所施設もつくってほしい。(聴力障害者協会)
- 就労継続支援A型事業所は少ないので、もっと増えると良い。(社会福祉協議会)
- 障がい児支援の充実。(社会福祉協議会)
- 障がい者の雇用促進、アクティブシニアの活動促進、農福連携の推進などを進めていくべきだと思う。(聴力障害者協会)
- 一人で家に住んでいる聴力障がい者も多いので、みんなで集まって話ができる場所があれば良いと思う。(聴力障害者協会)
- 視覚障がい者への理解を深める出前講座が中止になっている。参加した子どもたちは盲導犬や白杖のことを学んでくれているが、参加していない子どもたちは知る機会がない。大事な学習機会だと思うので、再開してほしい。(視覚障害者福祉協会)

健康増進

- 健康寿命を延ばすことで、介護保険料を減らし、若い世代の負担を減らしていくことが重要。(介護予防サポーター)
- 江別市は健康都市宣言をしているので、何か抜きん出たスポーツ事業やスポーツ交流などにも力を入れてほしい。(青年会議所)
- 元気な長寿の方が多い。健康寿命を延ばしていくことは大事。(まちづくり関係団体)
- 高齢化が進んでいるので、健康寿命を延ばすことが課題。(介護予防サポーター)

医療

- 江別市立病院の収支改善については、江別市民として心配している。(かけはしの会)
- 「江別市立病院に通院するの？良かったね！」と言われるような病院になってほしい。(手をつなぐ育成会)

その他

- JR江別駅周辺を活気づけることが必要。JR駅が近いので、福祉に力を入れた地

域にしてはどうか。(身体障害者福祉協会)

政策04 安全・安心

安全安心

- 安全安心が重要。「江別市は、安全安心だよ」と言われることが大切だと思う。市、警察、公安委員会、市の教育機関や学校、大学、自治会連絡協議会などが集まった、安全安心なまちづくりを協議する機関をつくってはどうか。(野幌地区自治会連絡協議会)
- 安全安心なまち。最近、ニュースを見ると亡くなる人が多いと思った。一人ひとりの命の大切さを見直してほしい。(市内高校の生徒)

防災

- 一人暮らしの高齢者の火災死が増えている。認知症初期段階の方かもしれない。出火原因の情報も、もっと詳しく伝えてほしい。予防につながると思う。(かけはしの会)

政策05 都市基盤

土地利用

- インターチェンジ周辺の活用も考えるべき。(大麻地区自治会連絡協議会)

交通

- バスやJRの本数を増やし、高齢者がもっと利用できるようになれば、交通事故が減るのでは。(市内高校の生徒)
- これからますますバス路線の充実が必要になってくると思う。(市内高校の生徒)
- 市として循環バスを運行して、高齢者に限らず、みんなが活用できるようになると、市内の商業施設やJR駅に行きやすくなるのでは。少しJR駅から離れたところでも住みやすくなると思う。(江別市PTA連合会)
- 市内の中心部と郊外のアクセスを改善し、まち全体の住み良さを高めていくことが大事。(市内大学の学生)
- デマンド型交通は、近所で行われているサークルに参加したい時などに利用できるよう、町内での運行が充実することを望む声が多い。今後、デマンド型交通の需要は高まると思う。(社会福祉協議会)
- 駅まで自家用車で通勤・通学することを前提に駅周辺を整備すれば、不便さも多少解消されるのでは。(市内企業の経営者)
- 江北地区のデマンド型タクシーが本格稼働となったが、使い勝手や効率の良い方法をもっと考えてほしい。近所の要所を巡回するデマンド型バスにしてほしい。(経験豊富な農業者)
- いろいろな公園に孫と行くことができるが、自家用車がないと連れていくことができなくなる。市内の立ち寄りスポットをぐるりと回るバスを定期的に運行してはどうだろうか。(女性団体協議会)
- 地下鉄を整備すれば、人口が増えるのでは。(聴力障害者協会)
- 地下鉄があると良い。JRやバスは雪の影響で遅延したりするが、地下鉄はそういうことはなく、札幌市と通勤しやすくなり、人が増えるのではと思った。江別市の真ん中を通るイメージ。(市内高校の生徒)
- 地下鉄を何とか江別市まで延伸してもらおう。(大麻地区自治会連絡協議会)

除排雪

- 除排雪の対応は喫緊の課題ではないか。(介護予防サポーター)
- 江別市に限らず北海道全体の除排雪にかかる費用が少ないと聞いたが、充実させてほしい。(市内高校の生徒)
- 高齢になると除雪も大変なので、地域の助け合いで少しでも改善できれば。(かけはしの会)
- 除雪を支えている事業者も減っているため、事業者を育てることも大事では。自然災害時に市内で対応できるようにしておくためにも必要だと思う。(市内企業の経営者)
- 除排雪にもっと力を入れてもらえたら、路線バスもスムーズに運行できるのでは。(聴力障害者協会)
- 雪対策に取り組んでいると思うが、さらに良くなるよう、期待している。特に、子どもたちの通学路を確保するための除排雪を充実させてほしい。(かけはしの会)

住宅

- できるところは宅地造成をして、人口を増やすことが重要。(経験豊富な農業者)
- 子育て世帯専用の市営住宅をつくり、転入してもらうのはどうだろうか。(保育園の利用者)

公園

- 子どもたちが歩いて行ける、あるいは自転車で集まれる、基幹になる公園の整備を進める一方、そうでない公園は転用が必要では。(江別市PTA連合会)
- 子ども目線で、どんな公園が必要なのかを考えるべきで、大人から与えられた公園ではなく、子どもが欲しい公園をつくるのが大事。(江別市PTA連合会)
- 市民が集えるような空間を野幌森林公園の入口近くにつくり、野幌森林公園を生かしたまちづくりと産業の誘致などを進めたら、未来がひらけるのではないだろうか。(大麻地区自治会連絡協議会)

高齢化対応

- 高齢化していくことを見据えて、公共交通など、今後の高齢化に向けた都市基盤づくりの準備を行っていく必要がある。(野幌地区自治会連絡協議会)

政策06 子育て・教育

子育て支援

- 子育て環境が整っているにもかかわらず、合計特殊出生率が低いことが課題。(まちづくり関係団体)
- 人の力でしかできないことが「まちづくり」。子どもを一人で育てるのではなく、みんなを頼って育て、後に、自分が助けられるようになったら、他の人を助ける、というまちになれば良い。今後もやさしさが伝わる政策にしてほしい。(女性団体協議会)
- 子育てしやすい環境だと人口減少を抑制できるのでは。(市内大学の学生)
- 子育てに税金を使ってほしい。(空色クラブ)
- 子育て世代が多い市であり続けることができれば、それが魅力になり、市外からもさらに人を呼び込めると思う。(私立幼稚園PTA連合会)
- 子育てひろばのような活動への支援が増えて、市内の各地で地域に密着した子育て

の取組が増えたら良い。(まちづくり関係団体)

- 江別市に来て、さらに2人目、3人目を産むことを考えてもらうには、保育所や子どもを産める産婦人科の増加なども進めていくことが必要なのでは。(介護予防サポーター)
- 子どもが産める病院があることと、生まれた子どもが安心して暮らせる環境が重要だと思う。(江別市PTA連合会)
- 子どもを産みやすいように、また、子どもが生まれた後に育てる不安が減るような取組に力を入れるべき。(介護予防サポーター)
- 出産できる産婦人科が少なくなった。出産できる産婦人科が他にないことが、若い母親にとっては不安だと思う。(女性団体協議会)
- 子どもを産むことができる場所は江別市立病院しかないため、子どもを産める環境をつくることも大切。(経験豊富な農業者)
- 子どもを産めるところが江別市立病院以外にもあると、病院を選ぶことができ、合計特殊出生率も上がるのでは。(JA道央・JA道央青年部)
- 若い人が安心して子どもを産める環境、産科を増やす。(シルバー人材センター)
- 子どもを産める産婦人科が少ない。増えると、健診に行く人も増えて、産みやすい環境になるのでは。(市内大学の学生)
- 1歳児健診や3歳児健診の際に、スクリーニングを推進してほしい。(保育園の利用者)
- 江別市内には、保育園や幼稚園が意外に少ないと思ったので、増えると、仕事と子育ての両立もしやすいのではと思う。(市内高校の生徒)
- 保育所も3歳以上は無料のようだが、3歳未満も無料にしたり、高校生まで教育費を無料にしたりするなど検討してほしい。(保育園の利用者)
- 保育は、建物だけでなく、人員体制をより充実させると、子育て世代がもっと入って来やすくなるのでは。(市内企業の若手職員)
- 保育園で預けられる時間が長くなれば、遅れずに迎えに行かなければならないという親の心理的なプレッシャーが軽減されるのではないだろうか。保育時間が1時間延長されると、正社員でも江別市に住んでいれば働き続けられると考えたお母さんたちが転入してきてくれるのではないか。(子育て支援センターすくすく利用者)
- 人口減少を抑制するには、子どもの数を増やすことが大切。今は、働きながら子育てをしづらい状況だと感じている。保育をもう少しサポートしてくれれば、働きたいお母さんが働くことができ、市の税収も増えることになる。初期投資だと思って、働きながら子育てができるように、もう少し支援を手厚くしてほしい。(私立幼稚園PTA連合会)
- 共働きの子育て世帯が増えているが、病児・病後児保育を実施しているところが2か所しかないので、病児・病後児保育を充実させれば、口コミで良さが広がると思う。(大麻地区自治会連絡協議会)
- 子育てと医療が大事。中学生まで医療費が無料にならないだろうか。もう少し病児保育や学童保育を充実させたら、さらに多くの子育て世帯が転入してくるかもしれないし、江別市に長く住んでくれるかもしれない。(市内企業の若手職員)
- 医療費の助成。他の自治体から来ている寮生の中には、医療費が無料の子もいる。江別市でも、少しでも医療費を負担してほしい。(市内高校の生徒)
- 子育て支援は重要だと思う。中学生まで医療費が無料の自治体もある。若い世代が

江別市に転入してくると、江別市もより一層活気が出ると思う。大学生の数が年々減っていく中で、大学生を当てにする政策は難しいのでは。(空色クラブ)

- 出産にかかる費用の負担軽減。(社会福祉協議会)
- 人口を増加させるには、子育てと仕事の両立が大切。女性が働きやすい、産後、仕事に復帰しやすい、男性も休暇を取りやすいなどの情報が、大学生にも伝わりやすくなれば良いのでは。(市内大学の学生)
- 男女ともに育児休業をとりやすいように、市が企業をバックアップするなどしてほしい。(保育園の利用者)
- 2人目を産むことをやめてしまう世帯にとって、その原因、考えは何なのか。経済的な支援だけではなく、何か必要なのか。そこを分析することが必要なのでは。(江別地区自治会連絡協議会)
- 子どもの数が多いので、子どもが進学していくことを考えると、経済的に不安。3人目以上への支援などがあると良い。(保育園の利用者)

教育

- 外国語教育に力を入れているなど、特色があると、子育て世代の転入が増えるのでは。(市内大学の学生)
- 教育、文化に力を入れるべき。その道に進むならば、江別市は力を入れているというものがあれば、江別市に引っ越してくる世帯も増えるのでは。(市内大学の学生)
- 就職先も重要だと思うが、子育て、教育、自然環境が良いことなどが大事。教科書を読むだけではなく、自然を生かした子どもの教育に力を入れるべき。(市内大学の学生)
- 外国人の転校生にうまく対応していけるようになれば良いと思う。(市内中学校の生徒)
- 最近、小中学校連携の話は来るが、江別市内の中学と高校の交流や連携も、深めていくべきではないだろうか。(市内中学校の生徒)

その他

- 経済規模が縮小すると、全てに影響するので、子育てや教育に力を入れて、10年、20年、30年の長い視点でまちづくりのあり方を考えてほしい。(江別地区自治会連絡協議会)
- 子育てのしやすさは選ぶポイントとなる。他の自治体ではやっていないような取組を、江別市が行うべき。(子育て支援センターすくすく利用者)

政策07 生涯学習・文化

生涯学習

- LGBTやSDGsなど、カタカナが多いと、なかなか頭に入ってこないという人もいると思うが、生涯学習などで普及してほしい。市民の積極的な行動力につながっていくと思う。(SOGIの会)
- 学ぶことが好きなので、生涯学習など、江別市の良いところや、いろいろな施設を知らせる講座などがあれば良い。(女性団体協議会)
- 大人が学校を卒業した後も学べる場がもっとあると、さらに良い市になると思うので、生涯学習にも力を入れてほしい。(市内大学の学生)
- 生涯学習については、大学がたくさんあるので、高齢者が学べる機会が増えると思う。オンラインも普及しているので、デジタル化も力を入れたらどうだろう

か。また、小学校もプログラミングの授業があるようなので、プログラミングの教室を開催するなど。(身体障害者福祉協会)

スポーツ

- スポーツ合宿の誘致ができないか。(自立支援協議会)
- スポーツ振興をしてほしい。江別市を代表するスポーツを定めて、強化を進めてほしい。(大麻地区自治会連絡協議会)
- 北海道立野幌総合運動公園を生かし、スポーツでまちを活性化してはどうだろうか。プロスポーツ選手になりたい子どものために、まずはスポーツチームをつくるなど始めてみてはどうだろうか。(視覚障害者福祉協会)

政策08 協働

協働

- 協働は、自ら率先してやってみようと思う大人が増え、姿勢を示すことで、子ども達もついて来る。(青年会議所)
- 江別市の市民性として、優しくて、いい人が多いので、江別市内でやらないといけないことを、有料でもボランティア活動で担えたら、面白いのではないか。(市内中学校の生徒)

コミュニティ

- 日頃から近所とのつながりを持てるようにしていくことが、住みやすいまちづくりにつながっていくのでは。(まちづくり関係団体)
- 各地域で、自発的な活動により、コミュニティを持続できるように促していくことが必要。(SOGIの会)
- 活力のある元気な市であるために、転入が継続することを目指すことが大事。住む場所を選ぶ際には、立地だけではなく、地域とのつながりを重要視する人も多いので、江別市が選んでもらえるような市になることが大切。(女性団体協議会)
- 自治会に参加したがる人にもどう参加してもらおうかも課題。(シルバー人材センター)
- 多世代交流サロンをしている中で、自治会とつながっていくことが大事なのではないかと感じている。(まちづくり関係団体)
- 独居世帯が増えており、町内会との連携が必要。(SOGIの会)
- 高齢者のひとり暮らしや、所有権はあるが住んでいない空き家が増えてきた。地域で人間関係を持ちながら暮らしていける環境が重要であり、地域コミュニティの活性化を図るための方策が必要。できれば、若者も高齢の方も一緒に関わられるような地域の活性化ができると良いと思う。(江別市PTA連合会)
- 普段から地域内での交流がないと、急にコミュニティを築くことは難しい。それは、市が与えるものではなく、地域で築いてもらわなければならないと思う。(江別市PTA連合会)

市内の交流

- JR江別駅周辺がにぎやかな時期を知っている。楽しめるイベントができたと思う。(女性団体協議会)
- 市内の交流人口をもっと増やしていくことが大事。多くの人にまちへの興味を持ってもらうことができこそ、助け合いや協働のまちづくりの実現につながっていく

のではないかと。それらの活動が盛り上がったまちには、市外から人も来るし、定住や観光にもつながると思う。内側（市内）に「楽しい」を沢山つくる必要がある。（まちづくり関係団体）

- 地域内交流の支援が必要。人口が減っていく中で、知らない人と協力し合うよりも、知っている人たち同士が協力し合う方が、ハードルが低く、協力しやすいと思うので、交流の場をつくっていくことが大事。普段から楽しい場面で交流する場が、市内に増えたら良いと思う。（社会福祉協議会）
- 若者も高齢の方も一緒に関わられるような、地域の活性化ができると良い。（江別市PTA連合会）
- 江別市民が江別市について意見を交換できる場をつくったり、江別市でやっていることをもっと発信したりすることが大事。（市内中学校の生徒）

大学生

- 大学生にやさしいまちになってほしい。大学生が住んでいる地域に大きなスーパーマーケットをつくってほしい。（空色クラブ）
- もう少し学生に市内に残って活躍してもらって魅力を江別市が持つことが大事ではないか。（自立支援協議会）
- 大学生に、在学中に市内の企業で働いてもらったり、知ってもらったりすることで、卒業後に就職を考える際の選択肢が広がるのでは。（市内企業の若手職員）
- 酪農学園大学と起業支援などコラボできないか。北翔大学ならば介護予防、北海道情報大学とはICTのリテラシーの普及をコラボで取り組むなど。（地域の医療・介護に携わる方）

LGBT

- LGBTの実情を知って手を差し伸べることができる体制づくりが必要。（SOGIの会）
- LGBTの理解普及という視点からは教育が重要。マイノリティの存在が当たり前になっていくことがゴール。（SOGIの会）

★新たな視点、分野など

DX（デジタル・トランスフォーメーション）

- 働き手の確保が難しくなると思うので、IT化を進めていくべき。（市内中学校の生徒）
- 市役所でも働き手が少なくなる中、DXによって効率化を進め、人間にしかできない考える分野にもっと取り組んでいくことで、市民サービスを向上させていくことが大切だと思う。（私立幼稚園PTA連合会）
- 国全体でデジタル化の流れがある中で、どう活用していくのが重要。（シルバー人材センター）
- 仕事の負担を減らしていくものがデジタル化であり、デジタル化を進めることで、江別市の魅力の発信にもつながり、市外から来る人も増えるのではないかと。（市内大学の学生）
- これからの時代はAIなど、デジタル化がとても進むと思うので、学校も含め市全体でICT化やICT産業に力を入れてほしい。（市内中学校の生徒）
- 現役時代に、10年間にわたって同じ方法で仕事をしていたら、その会社は潰れると教わった。これからはDXが重要。（野幌地区自治会連絡協議会）

- DXに関して、市内の4大学と連携して教育体制の充実につながるような取組が進められれば明るいニュースにつながるのでは。(まちづくり関係団体)
- デジタル化が進むと、便利になっていくのだと思う。デジタルを活用して、「こういうことができるんだよ」ということを伝えて、「私はできないから無理」という人をなくしていくことが大事だと思う。(視覚障害者福祉協会)
- デジタル弱者もいるので、その部分も考えながら進めていくことが重要。(SOGIの会)
- IT分野に弱いので、人の声で応対してもらえる場所は残してほしい。ひとりも取り残されないようになってほしい。(女性団体協議会)
- VRやアバターで仕事をしたり、打ち合わせをしたり、コミュニケーションをとることが普及すると、障がい者も参加しやすくなり、仕事に結びつくこともあると思う。(身体障害者福祉協会)

情報発信

- 市の取組を活発にするために、いろいろな都市宣言をしてはどうか。(まちづくり関係団体)
- ネームバリューが弱いと感じている。もっとブランド力を強めてほしい。(青年会議所)
- まちをPRして、ロケを誘致しているところがあった。そういう取組も積極的に行ってはどうか。(自立支援協議会)
- 合計特殊出生率は低いかもかもしれないが、人口は社会増となっている。江別市民にしか分からない魅力があるので、「住ませたら勝ち」だと思う。「仕事は札幌市でも、帰る家は江別市」でも良いのではないだろうか。隠れた魅力を掘り起こして、生活の場としての魅力を市内外に発信することが重要。(JA道央・JA道央青年部)
- 今の暮らしがいかにも魅力的であることを伝えることが大事。江別市の周辺自治体から人を取り合うのではなく、全国から呼び込むことが大事。土地の価格だけでなく、江別市が好きだという人に移ってきてもらうことが重要。(市内企業の経営者)
- 札幌市に通勤している人は、江別市への関心が低いと思う。現職中にも、住んでいる江別市に関心を持ってもらえるようなPRをもっとした方が良い。(大麻地区自治会連絡協議会)
- 札幌市に目を向けがちだが、空知管内の方にも宣伝や移住のPRを行ってはどうか。(市内企業の経営者)
- 住みやすいところで、ゆっくりと生活を送りたいという人に江別市を紹介できると良いのではないだろうか。(市内企業の経営者)
- 他市で「江別市は福祉のまちだよね」と言われたことがある。何か一つ、目を引くようなことがあればと思う。(女性団体協議会)
- 江別市の魅力が伝わると、人口増加につながるのではないかと思うので、江別市の魅力をもっと多くの人に伝えてほしい。(市内中学校の生徒)
- 江別市で力を入れていくことが決まったら、外部に発信することが必要。(市内中学校の生徒)
- 江別市のイメージ戦略が必要。是非良いキャッチフレーズをつくってほしい。(大麻地区自治会連絡協議会)
- レンガや小麦をもっとアピールしたら良いと思う。(自立支援協議会)
- ブロッコリーや小麦をもっとPRすれば良いと思う。(身体障害者福祉協会)

- 埋蔵文化財や歴史、北海道遺産のレンガなどがあるので、そういうものを生かして、ロマンをかきたてるようなイメージづくりをしてはどうか。(大麻地区自治会連絡協議会)
- 子育て事業は、比較的充実していると思うが、それは、江別市に住んだことがあったり、学生時代を過ごしたりしたから分かる良さであり、他の人には伝わりづらい。もう少し強くアピールしてはどうか。(子育て支援センターすくすく利用者)
- 今のお母さんたちは、YouTube、Instagram、TikTok で情報を得ている。子育て支援の情報発信は、若い親世代が使っている SNS も使った方が良い。(子育て支援センターすくすく利用者)
- 若い世代はスマートフォンから情報を得ることが多いと思うので、それを意識した情報発信に力を入れることも大事。(かけはしの会)
- 情報の発信はアナログとデジタルを織り交ぜるべき。(青年会議所)
- 市広報やインターネットからの情報が届かない高齢者が増えている。そのような人にどう伝えるか。(シルバー人材センター)
- これからは高齢者もインターネットを使うようになるので、高齢者が検索しやすくするなど、知りたい情報を探しやすいようにしてほしい。(シルバー人材センター)
- 高齢者が多いので、その方々に、どのように情報を伝えるかが課題。広報誌の役割が非常に大事だと感じている。(まちづくり関係団体)

ふるさと意識

- 結婚や転職など、人生の転機に江別市に戻ってきてもらえるような意識づけをして卒業してもらうことが必要。(まちづくり関係団体)
- 子どもの頃に江別市で体験した良い印象や思い出がきっかけで、再び江別市に戻って来ると良い。(市内企業の若手職員)
- 市外に転出しても、戻って来たいと思えるような教育が大事。(女性団体協議会)
- 小学校の時に江別市内を社会見学したことが印象に残っている。子どもの頃から江別市の魅力を伝え、子どもが江別市の空気に触れることは大事。江別市の文化財の補修や活動支援を行っている企業もある。民間と行政が協力し合って、江別市を魅力ある都市にしていくことが大事。(市内企業の若手職員)
- 大学生が卒業後、市外に転居することは、ある程度仕方がないが、結婚や出産、家を建てる時など、人生の節目に、江別市に戻って来たいと思わせることが大事。(子育て支援センターすくすく利用者)

行政運営

- 税収を上げることが重要であるため、世界の情報を集めて、施策を考える必要がある。自治体は、生き残りゲームになってきているため、マネジメントも大切だが、基本的な研究がなされていなければいけない。(経験豊富な農業者)
- 人口減少が進む中で、江別市が頑張ることと、他の自治体にお願いすることと、もう少しメリハリをつけた方が良い。(大麻地区自治会連絡協議会)
- 江別市の庁舎がかなり古い。市民が利用する場でもあるので、建替えも検討してはどうか。(空色クラブ)
- 江別市役所は老朽化が進んでおり、本庁舎を早く建て替えてほしい。江別市民会館も、非常に老朽化している。(かけはしの会)
- 新庁舎の建設。よく市役所に行くが、夏は暑くて辛い。(野幌地区自治会連絡協議会)

定住

- 今住んでいる人を大切にすることがまず重要で、子育て世帯への支援や高齢者を大切にすることが大事。(かけはしの会)
- 今住んでいる方に、これからも江別市に住み続けてもらうことが重要。(空色クラブ)
- 札幌市が近く、JRが通っており、教育機関や病院もあるので、生まれてから死ぬまで住みやすいまちでいてほしい。子育てしやすく、高齢になっても健康寿命が保てるようなまちに。今ある良い部分を伸ばしていけば良いのでは。(私立幼稚園PTA連合会)

移住

- ベッドタウンの機能を充実させて、市外からの転入を促すことが効果的なのは。(介護予防サポーター)
- 江別市の住み良さを、江別市外に住む、移住を考えている世代に情報発信をしていくことが必要。(空色クラブ)
- 企業が来るのはなかなか難しいと思うので、札幌市のベッドタウンとしての機能を高めていくべきではないか。(地域の医療・介護に携わる方)

住宅

- 家を建てる際に、何らかの補助がある自治体もあり、そのような情報が入ってくれば、その自治体に目を向けるきっかけになるのでは。大規模な宅地造成を続けることができれば、もっと多くの人が移り住んでくるのでは。(市内企業の若手職員)
- 若い人が住宅地を買える状況をつくるべき。(社会福祉協議会)

若者

- 若い人への投資が必要。若い人に選ばれるまちになっていくことが必要。(まちづくり関係団体)
- 若い人たちが市政に関わってくれば、若い感覚でいろいろなことに取り組んでくれるのではないだろうか。(SOGIの会)
- 若者に目を向けて、若者の意見を取り入れるべき。子どもが「コロナ禍になって、おじさん(政治家)たちが決めたことで、子どもが犠牲になっている」と言っていた。子育てや教育の話をしているが、大人が決めており、当事者の子どもの話をあまり聞いていない。子育てや教育にも、子どもの意見を取り入れていくべき。(江別市PTA連合会)
- 都市基盤の整備を進め、若い人が選んでくれるまちになることで、企業誘致が進み、税金が増え、さまざまな世代の方や、障がいを持つ方への支援につながることができたらと思う。(地域の医療・介護に携わる方)

その他

【住みやすい】

- 観光より今あるものを伸ばしていったら良いと思う。程良い田舎具合に住みやすいと思っている人もいるので、観光を伸ばして賑わうまちになったら、環境が変わってしまうかもしれない。(市内中学校の生徒)
- 観光地で賑わうまちより、住みやすいまちをつくってほしい。(市内中学校の生徒)
- 今ある江別市の強みを生かしながら、子育て支援、教育、福祉などの推進により、住み良さを伸ばしていくことで、他自治体への流出を防ぎ定住につなげていくと

もに、江別市への移住にもつなげていくことが大事だと思う。(江別地区自治会連絡協議会)

- 仕事は札幌市で、住む場所として江別市を選んでもらえるように、アクセスを充実させる方法でも良いのではないだろうか。共働き世帯が住みやすいと感じるまちになってほしい。(子育て支援センターすくすく利用者)
- 住みよさを求めて、住む場所を探している方々を、いかに江別市で受け止められるか、他の自治体との差別化が重要。(子育て支援センターすくすく利用者)

【全体をみて・バランスを】

- アンケート調査で、満足度が低くて重要が高い項目を優先的に取り組むべき。(野幌地区自治会連絡協議会)
- 今は人口増・社会増という成果が出ているが、どこかで限界が来る。江別市自体の魅力を高めていくために、総合的に力を入れて、観光などまだ足りない分野を底上げし、全体的に魅力を高めていくことが大事。(市内企業の経営者)
- 若い世帯が納める税より、子育て支援の予算が多い。年齢構成のバランスを考えて、三世代ともに暮らしやすいまちづくりを進めてほしい。(江別地区自治会連絡協議会)

【その他】

- 命を守ることが大事。人の命を最優先にすることが重要。除排雪の遅れで救急車が通れないことはもちろん、障がい者、高齢者、LGBTの方が孤立していたら、命の危険につながる。(SOGIの会)
- 江別市は、学園都市、札幌市のベッドタウンというイメージを持たれているが、これらのイメージからの脱却が必要ではないだろうか。(空色クラブ)
- 高齢化し、空いたらまた人が入って来る、循環するまちにしてはどうだろうか。(市内企業の経営者)
- 札幌市を除く石狩管内や近隣の市町村で、江別市がイニシアチブをとってほしい。どんどん江別市が他市町村を引っ張っていく形になってほしい。(SOGIの会)
- 札幌市や東京都と同じものを求める人は江別市には来ない。実利を取り、品のある落ち着いたまちになってほしい。(市内企業の経営者)
- 目の前の人と安心して接していける、住んでいる人が心のやさしい、穏やかなまちになると良い。(女性団体協議会)
- 空洞化した江別地区の市街地中心を、どう活性化していくか。自分の子どもが育った後も、そのまま江別市内に定住するまちであってほしい。(江別地区自治会連絡協議会)
- 自治会内で、結婚しないまま実家で同居している40～50代が多く、このまま高齢化するのではと思っている。未婚対策が必要では。(江別地区自治会連絡協議会)
- 三世代で住めることは素晴らしいと思うので、三世代と一緒に住めるまちづくりを進めるべき。(大麻地区自治会連絡協議会)
- 身近で小さな器の中で、人口を取り合うのではなく、外から広く、多くの人を呼び込むことが重要であり、それがまちの活性化につながると思う。(大麻地区自治会連絡協議会)
- 人口減少になる中、海外の人を受け入れる支援が充実すれば良いと思う。(市内中学校の生徒)
- 人口減少は、子どもが少なくなっていくことが要因の一つとなっているが、諦めてはいけない。(江別市PTA連合会)

Ⅲ グループ特有のテーマで出された意見

えべつ未来づくりミーティングは、30グループと延べ31回行いましたが、意見交換では、共通のテーマに加え、グループ特有のテーマを設けて意見をお聞きしているグループがあることから、主な意見をご紹介します。

1 一般社団法人 江別青年会議所

テーマ：江別市における将来の地域経済の活性化

- ・市外在住の方が行き交う国道275号を生かした観光の取組を行ってはどうか。
- ・大学等との連携によるDX（デジタルを活用した変革）の取組を行ってはどうか。
- ・起業を活性化させるための取組を行ってはどうか。
- ・若い方がいろいろな仕事を知るための取組を行ってはどうか。
- ・農業にチャレンジしたい若い人ための取組を行ってはどうか。

【共通のテーマについて、意見があった内容（○がついている項目）】

順位	江別市の「強み」	意見	順位	江別市の「弱み」	意見	順位	力を入れるべき分野・取組	意見
1	札幌市が近い、アクセス	○	1	雪が多い、雪対策や除雪		1	子育て支援、教育	
2	自然が多い、身近	○	2	特徴がない、観光・宿泊が少ない	○	2	障がい者福祉・支援	
3	子育て環境、子育て世代が多い	○	3	札幌市に頼りがち、目を向けがち		3	働く場	
4	日用品店が多い・揃っている	○	4	町内の公共交通、車がないと不便			情報の発信、PR	
5	大学が四つ、大学生が多い	○	5	企業が少なく、就職先が少ない	○	5	DX	○
6	全体的に交通アクセスが良い	○	6	大学生が卒業後、市外に転出	○	6	観光	○
7	公園が多い、大きな公園がある	○	7	地域の差(高齢化、江別・大麻)		7	アクティブシニア	○
8	小麦が有名、魅力ある食がある	○	8	バスが不便			高齢者福祉・支援	
9	魅力的な店がある・増えている	○	9	情報発信力が弱い・上手くない		9	子どもを産める産科	
10	地価が安い、広い宅地を購入可	○	10	公園の遊具・設備、公園の管理		10	公共交通	



2 江別市自立支援協議会

テーマ：江別市の障がい福祉の現状

- ・障がい者や高齢者に対する理解が、非常に深いまちだと感じる。
- ・市内のバリアフリー化が進んでいない点が課題だと感じる。
- ・事業所間の横のつながりが強いと感じる。（市職員の発言）

【共通のテーマについて、意見があった内容（○がついている項目）】

順位	江別市の「強み」	意見	順位	江別市の「弱み」	意見	順位	力を入れるべき分野・取組	意見
1	札幌市が近い、アクセス	○	1	雪が多い、雪対策や除雪		1	子育て支援、教育	
2	自然が多い、身近		2	特徴がない、観光・宿泊が少ない	○	2	障がい者福祉・支援	○
3	子育て環境、子育て世代が多い		3	札幌市に頼りがち、目を向けがち	○	3	働く場	
4	日用品店が多い・揃っている		4	町内の公共交通、車がないと不便			情報の発信、PR	○
5	大学が四つ、大学生が多い	○	5	企業が少なく、就職先が少ない		5	DX	
6	全体的に交通アクセスが良い		6	大学生が卒業後、市外に転出	○	6	観光	
7	公園が多い、大きな公園がある	○	7	地域の差(高齢化、江別・大麻)		7	アクティブシニア	
8	小麦が有名、魅力ある食がある	○	8	バスが不便			高齢者福祉・支援	
9	魅力的な店がある・増えている		9	情報発信力が弱い・上手くない		9	子どもを産める産科	
10	地価が安い、広い宅地を購入可		10	公園の遊具・設備、公園の管理		10	公共交通	

3 公益社団法人 江別市シルバー人材センター

テーマ：元気に働き続けるために必要な環境

- ・日ごろの健康管理が大切であり、仕事があるからこそ健康でいなければならないという気持ちも重要だと思う。
- ・高齢者の就職の間口をもっと広げる必要があると思う。
- ・仕事をするのが一番の健康法だと思う。
- ・仕事で、お客さんに喜んでもらえることが、働きがいになっている。
- ・地域で行う健康推進のイベントに積極的に参加したいという環境をつくってはどうか。
- ・江別市蒼樹大学や聚楽学園は、いろいろな話を聞くことができ楽しい。

【共通のテーマについて、意見があった内容（○がついている項目）】

順位	江別市の「強み」	意見	順位	江別市の「弱み」	意見	順位	力を入れるべき分野・取組	意見
1	札幌市が近い、アクセス	○	1	雪が多い、雪対策や除雪	○	1	子育て支援、教育	○
2	自然が多い、身近	○	2	特徴がない、観光・宿泊が少ない		2	障がい者福祉・支援	
3	子育て環境、子育て世代が多い	○	3	札幌市に頼りがち、目を向けがち	○	3	働く場	
4	日用品店が多い・揃っている		4	町内の公共交通、車がないと不便			情報の発信、PR	
5	大学が四つ、大学生が多い		5	企業が少なく、就職先が少ない	○	5	DX	○
6	全体的に交通アクセスが良い		6	大学生が卒業後、市外に転出		6	観光	
7	公園が多い、大きな公園がある	○	7	地域の差(高齢化、江別・大麻)		7	アクティブシニア	
8	小麦が有名、魅力ある食がある		8	バスが不便	○		高齢者福祉・支援	○
9	魅力的な店がある・増えている		9	情報発信力が弱い・上手くない		9	子どもを産める産科	○
10	地価が安い、広い宅地を購入可		10	公園の遊具・設備、公園の管理		10	公共交通	

4 社会福祉法人 長井学園の利用者の皆さん

テーマ：江別の印象、好きなおところ

- ・江別蔦屋書店が好き。
- ・休みの日には、気分転換に出かけることがあり、コンビニエンスストアやイオン、ドラッグストアなどに出かけるのが好き。
- ・江別市の住み心地は、都会なのか、田舎なのか、よく分からないけど、良いと思う。
- ・江別市の住み心地は、まあまあかな。

5 まちづくり関係団体

テーマ：10年前と現在の、各団体の意識と市民の意識の変化

- ・地域活動に参加する方の高齢化に悩んでいる団体が多い。
- ・若い人たちも活動しやすい環境づくりが必要だと思う。
- ・気軽に参加できるような情報発信が必要だと思う。
- ・人材、費用、活動場所は、ほとんどの団体が抱える課題。
- ・最近では、SDGsの普及もあり、リサイクルやごみに対する関心や意識が高くなっているように感じる。
- ・地域の一員としての、つながりを求めている若者が増えているように感じる。
- ・今は、働いている母親が多く、子育てを通じたつながりを持つのが難しくなっていると感じる。
- ・多世代交流サロンは、世代に関わらず、「誰かのために何かをしたい」という声が多い。

【共通のテーマについて、意見があった内容（○がついている項目）】

順位	江別市の「強み」	意見	順位	江別市の「弱み」	意見	順位	力を入れるべき分野・取組	意見
1	札幌市に近い、アクセス	○	1	雪が多い、雪対策や除雪	○	1	子育て支援、教育	○
2	自然が多い、身近	○	2	特徴がない、観光・宿泊が少ない	○	2	障がい者福祉・支援	○
3	子育て環境、子育て世代が多い	○	3	札幌市に頼りがち、目を向けがち	○	3	働く場	
4	日用品店が多い・揃っている	○	4	町内の公共交通、車がないと不便	○		情報の発信、PR	○
5	大学が四つ、大学生が多い	○	5	企業が少なく、就職先が少ない		5	DX	○
6	全体的に交通アクセスが良い		6	大学生が卒業後、市外に転出	○	6	観光	
7	公園が多い、大きな公園がある		7	地域の差(高齢化、江別・大麻)	○	7	アクティブシニア	
8	小麦が有名、魅力ある食がある		8	バスが不便	○		高齢者福祉・支援	○
9	魅力的な店がある・増えている	○	9	情報発信力が弱い・上手くない		9	子どもを産める産科	○
10	地価が安い、広い宅地を購入可	○	10	公園の遊具・設備、公園の管理		10	公共交通	



6 江別SOGIの会

テーマ：江別市パートナーシップ宣誓制度を機に変わったこと、今後、期待すること

- ・児童生徒だけではなく、学校の先生を対象にしたLGBTの学習会を行ってほしい。
- ・さらに、先生に知識があっても、保護者になれば、子どもが家庭で辛い思いをするため、保護者の知識も必要。
- ・江別市は、誰にでもやさしいまちだということが分かってもらえるような、市からのアプローチ・情報発信が必要だと思う。

【共通のテーマについて、意見があった内容（○がついている項目）】

順位	江別市の「強み」	意見	順位	江別市の「弱み」	意見	順位	力を入れるべき分野・取組	意見
1	札幌市が近い、アクセス	○	1	雪が多い、雪対策や除雪	○	1	子育て支援、教育	
2	自然が多い、身近	○	2	特徴がない、観光・宿泊が少ない		2	障がい者福祉・支援	
3	子育て環境、子育て世代が多い	○	3	札幌市に頼りがち、目を向けがち	○	3	働く場	
4	日用品店が多い・揃っている	○	4	町内の公共交通、車がないと不便	○		情報の発信、PR	
5	大学が四つ、大学生が多い		5	企業が少なく、就職先が少ない		5	DX	○
6	全体的に交通アクセスが良い		6	大学生が卒業後、市外に転出		6	観光	
7	公園が多い、大きな公園がある		7	地域の差(高齢化、江別・大麻)		7	アクティブシニア	
8	小麦が有名、魅力ある食がある	○	8	バスが不便	○		高齢者福祉・支援	○
9	魅力的な店がある・増えている		9	情報発信力が弱い・上手くない		9	子どもを産める産科	
10	地価が安い、広い宅地を購入可	○	10	公園の遊具・設備、公園の管理		10	公共交通	

7 江別聴力障害者協会

テーマ：江別市手話言語条例制定後の状況について

- ・江別市役所でも、手話ができる（覚えようとしている）職員が増えており、うれしい。
- ・手話普及のためのポスターを、学校や病院、店舗などの目に留まるところに貼るなどして、もっとPRしてほしい。
- ・江別市手話言語条例を制定する際に、障がい者と江別市職員が実際に話し合う場が生まれたことで、障がい者を取り巻く現状への共通理解が生まれたと感じる。

【共通のテーマについて、意見があった内容（○がついている項目）】

順位	江別市の「強み」	意見	順位	江別市の「弱み」	意見	順位	力を入れるべき分野・取組	意見
1	札幌市が近い、アクセス	○	1	雪が多い、雪対策や除雪	○	1	子育て支援、教育	
2	自然が多い、身近	○	2	特徴がない、観光・宿泊が少ない		2	障がい者福祉・支援	○
3	子育て環境、子育て世代が多い	○	3	札幌市に頼りがち、目を向けがち	○	3	働く場	○
4	日用品店が多い・揃っている	○	4	町内の公共交通、車がないと不便			情報の発信、PR	
5	大学が四つ、大学生が多い	○	5	企業が少なく、就職先が少ない		5	DX	
6	全体的に交通アクセスが良い		6	大学生が卒業後、市外に転出	○	6	観光	
7	公園が多い、大きな公園がある		7	地域の差(高齢化、江別・大麻)		7	アクティブシニア	
8	小麦が有名、魅力ある食がある		8	バスが不便	○		高齢者福祉・支援	○
9	魅力的な店がある・増えている		9	情報発信力が弱い・上手くない		9	子どもを産める産科	
10	地価が安い、広い宅地を購入可		10	公園の遊具・設備、公園の管理		10	公共交通	○

8 江別空色クラブ

テーマ：身近な生活で不便に思うこと

- ・江別市は、生活の利便性は良いが、精神障がい者は、他の障がい種別に比べて冷遇されていると感じる。
- ・通院や買物が困難な人たちのために、交通費の助成をさらに充実させるための支援などを考えてほしい。

【共通のテーマについて、意見があった内容（○がついている項目）】

順位	江別市の「強み」	意見	順位	江別市の「弱み」	意見	順位	力を入れるべき分野・取組	意見
1	札幌市が近い、アクセス	○	1	雪が多い、雪対策や除雪	○	1	子育て支援、教育	○
2	自然が多い、身近		2	特徴がない、観光・宿泊が少ない	○	2	障がい者福祉・支援	
3	子育て環境、子育て世代が多い		3	札幌市に頼りがち、目を向けがち	○	3	働く場	
4	日用品店が多い・揃っている	○	4	町内の公共交通、車がないと不便			情報の発信、PR	○
5	大学が四つ、大学生が多い	○	5	企業が少なく、就職先が少ない		5	DX	
6	全体的に交通アクセスが良い	○	6	大学生が卒業後、市外に転出		6	観光	
7	公園が多い、大きな公園がある		7	地域の差(高齢化、江別・大麻)		7	アクティブシニア	
8	小麦が有名、魅力ある食がある		8	バスが不便			高齢者福祉・支援	○
9	魅力的な店がある・増えている		9	情報発信力が弱い・上手くない		9	子どもを産める産科	
10	地価が安い、広い宅地を購入可		10	公園の遊具・設備、公園の管理		10	公共交通	

9 市内企業の経営者の皆さん

テーマ：近年の人手不足について

- ・求人募集をすると、最近では、江別市だけでなく、札幌市のほか、当別町や岩見沢市、南幌町からも応募があるため、市外の方に対しても、会社概要を伝えられる機会を増やすべきだと感じる。
- ・新型コロナウイルス感染拡大により、帰国した外国人実習生が江別市に戻ってくることができないため、人手不足に苦労していたが、自動化の整備を進めたことで省力を図ることができた。
- ・若い方は、給料の額より、余暇を重視する傾向にあり、働き方の転換期にあると感じることから、企業の情報を積極的に発信して、マッチングしていくことが重要だと感じる。

【共通のテーマについて、意見があった内容（○がついている項目）】

順位	江別市の「強み」	意見	順位	江別市の「弱み」	意見	順位	力を入れるべき分野・取組	意見
1	札幌市が近い、アクセス	○	1	雪が多い、雪対策や除雪	○	1	子育て支援、教育	
2	自然が多い、身近	○	2	特徴がない、観光・宿泊が少ない		2	障がい者福祉・支援	
3	子育て環境、子育て世代が多い	○	3	札幌市に頼りがち、目を向けがち		3	働く場	
4	日用品店が多い・揃っている		4	町内の公共交通、車がないと不便	○		情報の発信、PR	○
5	大学が四つ、大学生が多い		5	企業が少なく、就職先が少ない		5	DX	
6	全体的に交通アクセスが良い		6	大学生が卒業後、市外に転出	○	6	観光	○
7	公園が多い、大きな公園がある		7	地域の差(高齢化、江別・大麻)	○	7	アクティブシニア	
8	小麦が有名、魅力ある食がある		8	バスが不便			高齢者福祉・支援	
9	魅力的な店がある・増えている		9	情報発信力が弱い・上手くない		9	子どもを産める産科	
10	地価が安い、広い宅地を購入可	○	10	公園の遊具・設備、公園の管理		10	公共交通	

10 市内企業に勤務する若手社員の皆さん

テーマ：将来にわたって、江別市に暮らしてもらうためには

- ・子育て世代にずっと住んでもらうための取組として、高齢者になっても住みやすいまちを目指す必要があると思う。
- ・自家用車がなければ便利とは言い難いため、シャトルバスや、全市的なデマンド型タクシーなどの取組が必要だと思う。
- ・除雪に課題はあるが、江別市は災害などが比較的少ないと感じており、災害に強いまちだと思う。
- ・市内企業が、インターンシップを積極的に行うなど、市内大学生が卒業する前に、もっと江別市の魅力を伝えるべきだと思う。
- ・高齢者になっても、簡単に市の情報を入手できるような環境が必要だと思う。

【共通のテーマについて、意見があった内容（○がついている項目）】

順位	江別市の「強み」	意見	順位	江別市の「弱み」	意見	順位	力を入れるべき分野・取組	意見
1	札幌市が近い、アクセス	○	1	雪が多い、雪対策や除雪	○	1	子育て支援、教育	○
2	自然が多い、身近	○	2	特徴がない、観光・宿泊が少ない	○	2	障がい者福祉・支援	
3	子育て環境、子育て世代が多い	○	3	札幌市に頼りがち、目を向けがち	○	3	働く場	○
4	日用品店が多い・揃っている	○	4	町内の公共交通、車がないと不便			情報の発信、PR	○
5	大学が四つ、大学生が多い		5	企業が少ない、就職先が少ない		5	DX	
6	全体的に交通アクセスが良い		6	大学生が卒業後、市外に転出	○	6	観光	
7	公園が多い、大きな公園がある	○	7	地域の差(高齢化、江別・大麻)	○	7	アクティブシニア	
8	小麦が有名、魅力ある食がある	○	8	バスが不便			高齢者福祉・支援	
9	魅力的な店がある・増えている	○	9	情報発信力が弱い・上手くない		9	子どもを産める産科	
10	地価が安い、広い宅地を購入可	○	10	公園の遊具・設備、公園の管理	○	10	公共交通	



11 江別市女性団体協議会

テーマ：10年前と現在の、各団体の意識と市民の意識の変化

- ・女性団体協議会は、良い方向に進むように、役員をはじめ、みんなで協力して活動しており、市民にも認知されつつあるように思う。
- ・女性団体協議会は、過去にマンネリ化が懸念された時期もあったが、皆さんからいろいろな提案があり、現在は活発に活動している。
- ・地道な活動を続けていくことで、女性団体協議会は70周年を迎えることができた。

【共通のテーマについて、意見があった内容（○がついている項目）】

順位	江別市の「強み」	意見	順位	江別市の「弱み」	意見	順位	力を入れるべき分野・取組	意見
1	札幌市が近い、アクセス	○	1	雪が多い、雪対策や除雪		1	子育て支援、教育	○
2	自然が多い、身近	○	2	特徴がない、観光・宿泊が少ない	○	2	障がい者福祉・支援	
3	子育て環境、子育て世代が多い	○	3	札幌市に頼りがち、目を向けがち		3	働く場	
4	日用品店が多い・揃っている	○	4	町内の公共交通、車がないと不便	○		情報の発信、PR	○
5	大学が四つ、大学生が多い		5	企業が少ない、就職先が少ない	○	5	DX	
6	全体的に交通アクセスが良い	○	6	大学生が卒業後、市外に転出	○	6	観光	
7	公園が多い、大きな公園がある	○	7	地域の差(高齢化、江別・大麻)		7	アクティブシニア	
8	小麦が有名、魅力ある食がある		8	バスが不便	○		高齢者福祉・支援	
9	魅力的な店がある・増えている	○	9	情報発信力が弱い・上手くない	○	9	子どもを産める産科	○
10	地価が安い、広い宅地を購入可		10	公園の遊具・設備、公園の管理	○	10	公共交通	



12 市内各大学の学生の皆さん

テーマ：将来にわたって、江別市に暮らしてもらうためには

- ・家賃が安ければ、江別市は住む場所の選択肢に入ると思う。
- ・知っていれば良さが伝わるまちだが、あまり知られておらず、良さが伝わっていないと思うので、もっと大学生がまちづくりに参加できる機会が増やせばいいと思う。
- ・地域の魅力を生かした、にぎわいの場があると良いと思う。
- ・観光に特化するのではなく、暮らしやすいまちとして定住に特化した取組を行えたら良いと思う。
- ・情報が分散していると感じるので、見やすく、調べやすい、魅力的なホームページが良いと思う。
- ・住みやすさは、外からわかりにくく、住んでみて初めて分かるものだと思う。

【共通のテーマについて、意見があった内容（○がついている項目）】

順位	江別市の「強み」	意見	順位	江別市の「弱み」	意見	順位	力を入れるべき分野・取組	意見
1	札幌市に近い、アクセス		1	雪が多い、雪対策や除雪	○	1	子育て支援、教育	○
2	自然が多い、身近	○	2	特徴がない、観光・宿泊が少ない	○	2	障がい者福祉・支援	
3	子育て環境、子育て世代が多い	○	3	札幌市に頼りがち、目を向けがち	○	3	働く場	○
4	日用品店が多い・揃っている	○	4	町内の公共交通、車がないと不便	○		情報の発信、PR	○
5	大学が四つ、大学生が多い	○	5	企業が少なく、就職先が少ない		5	DX	○
6	全体的に交通アクセスが良い	○	6	大学生が卒業後、市外に転出	○	6	観光	
7	公園が多い、大きな公園がある	○	7	地域の差(高齢化、江別・大麻)	○	7	アクティブシニア	○
8	小麦が有名、魅力ある食がある		8	バスが不便			高齢者福祉・支援	
9	魅力的な店がある・増えている	○	9	情報発信力が弱い・上手くない	○	9	子どもを産める産科	○
10	地価が安い、広い宅地を購入可		10	公園の遊具・設備、公園の管理		10	公共交通	○



13 介護予防サポーターの皆さん

テーマ：高齢者が生き生きと暮らしていくための方法について

- ・地域での互助の活動が大切。
- ・高齢者が、身近な場所で集える環境を整え、自治会などの活動に参加する機会を多く提供すれば良いと思う。
- ・活動の場に参加される方は、元気な方が多い。
- ・引きこもっている方を探して、地域活動に誘う人を増やすことが大切だと思う。
- ・同じ年齢でも、健康や、社会参加の度合い、ライフスタイルなどはそれぞれで異なるため、「生き生きとした生活」の捉え方には差があることから、その人が、その人らしい生活を送れるよう、包括的な支援を行うことが重要だと思う。

【共通のテーマについて、意見があった内容（○がついている項目）】

順位	江別市の「強み」	意見	順位	江別市の「弱み」	意見	順位	力を入れるべき分野・取組	意見
1	札幌市が近い、アクセス	○	1	雪が多い、雪対策や除雪		1	子育て支援、教育	○
2	自然が多い、身近	○	2	特徴がない、観光・宿泊が少ない	○	2	障がい者福祉・支援	
3	子育て環境、子育て世代が多い	○	3	札幌市に頼りがち、目を向けがち	○	3	働く場	
4	日用品店が多い・揃っている		4	町内の公共交通、車がないと不便	○		情報の発信、PR	
5	大学が四つ、大学生が多い		5	企業が少ない、就職先が少ない	○	5	DX	
6	全体的に交通アクセスが良い		6	大学生が卒業後、市外に転出	○	6	観光	
7	公園が多い、大きな公園がある		7	地域の差(高齢化、江別・大麻)		7	アクティブシニア	
8	小麦が有名、魅力ある食がある		8	バスが不便			高齢者福祉・支援	○
9	魅力的な店がある・増えている		9	情報発信力が弱い・上手くない	○	9	子どもを産める産科	
10	地価が安い、広い宅地を購入可	○	10	公園の遊具・設備、公園の管理		10	公共交通	



14 社会福祉法人 江別市社会福祉協議会の若手職員の皆さん

テーマ：地域福祉（相談業務）について

- ・江別市は、ボランティア活動への参加意欲がある方が、年齢問わず多く、ボランティアを上手に活用している高齢者支援施設や障がい者支援施設は多いと思う。
- ・引きこもりの方など、社会とのつながりが乏しい方に関する相談があるため、江別市独自で引きこもり支援が必要だと感じる。
- ・近年、ボランティアをされている方が高齢化して、支援する側から支援される側になっているため、ボランティアのやりがいをしっかりと伝えて、人材を確保することが重要だと思う。
- ・年代によって、情報収集の手段や理解度に差が生じることを、発信する側がよく理解して、情報発信の方法を考えることが重要だと思う。

【共通のテーマについて、意見があった内容（○がついている項目）】

順位	江別市の「強み」	意見	順位	江別市の「弱み」	意見	順位	力を入れるべき分野・取組	意見
1	札幌市が近い、アクセス	○	1	雪が多い、雪対策や除雪		1	子育て支援、教育	○
2	自然が多い、身近		2	特徴がない、観光・宿泊が少ない	○	2	障がい者福祉・支援	○
3	子育て環境、子育て世代が多い	○	3	札幌市に頼りがち、目を向けがち	○	3	働く場	○
4	日用品店が多い・揃っている	○	4	町内の公共交通、車がないと不便	○		情報の発信、PR	
5	大学が四つ、大学生が多い		5	企業が少ない、就職先が少ない	○	5	DX	
6	全体的に交通アクセスが良い	○	6	大学生が卒業後、市外に転出	○	6	観光	
7	公園が多い、大きな公園がある	○	7	地域の差(高齢化、江別・大麻)		7	アクティブシニア	
8	小麦が有名、魅力ある食がある		8	バスが不便			高齢者福祉・支援	○
9	魅力的な店がある・増えている	○	9	情報発信力が弱い・上手くない		9	子どもを産める産科	
10	地価が安い、広い宅地を購入可	○	10	公園の遊具・設備、公園の管理		10	公共交通	○



15 江別認知症の人の家族を支える会（かけはしの会）

テーマ：認知症の方や、その家族に必要な地域での支援について

- ・ 幼いころから認知症への理解を深めてもらえるように、小学生を対象とした演劇プロジェクト「認知症ってなあに」を計画している。
- ・ 子どもにも認知症への理解が広がれば、地域で認知症の方が迷子になった時、子どもも声を掛けられるようになるのではないかと思う。
- ・ 認知症の方が、笑顔で過ごすことができるほか、家族の方が困ったことを話すことができるような、認知症の方とその家族のための地域サロンがたくさんあれば良いと思う。
- ・ 認知症について、直接知識を得られる場があることは幸せなことであり、今後も学ぶ機会の提供を続け、積極的な情報発信を行ってほしい。

【共通のテーマについて、意見があった内容（○がついている項目）】

順位	江別市の「強み」	意見	順位	江別市の「弱み」	意見	順位	力を入れるべき分野・取組	意見
1	札幌市が近い、アクセス	○	1	雪が多い、雪対策や除雪	○	1	子育て支援、教育	
2	自然が多い、身近	○	2	特徴がない、観光・宿泊が少ない		2	障がい者福祉・支援	
3	子育て環境、子育て世代が多い	○	3	札幌市に頼りがち、目を向けがち		3	働く場	
4	日用品店が多い・揃っている	○	4	町内の公共交通、車がないと不便			情報の発信、PR	○
5	大学が四つ、大学生が多い	○	5	企業が少ない、就職先が少ない	○	5	DX	
6	全体的に交通アクセスが良い	○	6	大学生が卒業後、市外に転出	○	6	観光	
7	公園が多い、大きな公園がある		7	地域の差(高齢化、江別・大麻)		7	アクティブシニア	
8	小麦が有名、魅力ある食がある		8	バスが不便	○		高齢者福祉・支援	○
9	魅力的な店がある・増えている		9	情報発信力が弱い・上手くない		9	子どもを産める産科	
10	地価が安い、広い宅地を購入可	○	10	公園の遊具・設備、公園の管理		10	公共交通	



16 J A道央・J A道央青年部

テーマ：江別市における将来の地域農業の活性化策について

- ・スマート農業の推進のために、江別市にGPSの基地局を設置してはどうか。
- ・スマート農業が進めば、離農によって、一農業経営者当たりの耕地面積が増える中であっても、自動運転による農作業の省力化につなげることができると思う。
- ・小学校などで、食育の授業（グリーンスクール）を行い、子どもたちがもっと農業を身近に感じ取れるようになれば良いと思う。
- ・農福連携を行うための情報が生産者に届きやすくなれば良いと思う。
- ・肥料の価格が高騰する中、循環型農業への転換を考えていくことが重要だと思う。

【共通のテーマについて、意見があった内容（○がついている項目）】

順位	江別市の「強み」	意見	順位	江別市の「弱み」	意見	順位	力を入れるべき分野・取組	意見
1	札幌市が近い、アクセス	○	1	雪が多い、雪対策や除雪		1	子育て支援、教育	○
2	自然が多い、身近	○	2	特徴がない、観光・宿泊が少ない	○	2	障がい者福祉・支援	
3	子育て環境、子育て世代が多い		3	札幌市に頼りがち、目を向けがち	○	3	働く場	
4	日用品店が多い・揃っている	○	4	町内の公共交通、車がないと不便	○		情報の発信、PR	
5	大学が四つ、大学生が多い	○	5	企業が少なく、就職先が少ない	○	5	DX	
6	全体的に交通アクセスが良い	○	6	大学生が卒業後、市外に転出		6	観光	○
7	公園が多い、大きな公園がある	○	7	地域の差(高齢化、江別・大麻)		7	アクティブシニア	○
8	小麦が有名、魅力ある食がある	○	8	バスが不便			高齢者福祉・支援	
9	魅力的な店がある・増えている	○	9	情報発信力が弱い・上手くない	○	9	子どもを産める産科	○
10	地価が安い、広い宅地を購入可		10	公園の遊具・設備、公園の管理		10	公共交通	



17 江別市私立幼稚園PTA連合会

テーマ：将来にわたって、子どもがのびのびと成長していくためには

- ・遊べる場所は少ないと感じるが、それ以外は良い環境だと思う。
- ・未就学児の療育機関は支援を受けられるところが多く、特別支援学級も充実している。
- ・学童保育の保育時間が延長されると、保護者は心配せずに働けると思う。
- ・今後、部活動が民間に委託されるようになると、学校によって指導者の有無などの差が生じてしまうほか、学校選択制が導入されているため、環境が良い学校に児童・生徒が集まってしまうことへの懸念がある。
- ・江別市の教育は充実しているため、引き続き取り組んでほしいが、教員のケアも重要だと思う。
- ・インターネット環境から子どもを守る環境整備や、遊ばせる地域の安全性も大切だと思う。

【共通のテーマについて、意見があった内容（○がついている項目）】

順位	江別市の「強み」	意見	順位	江別市の「弱み」	意見	順位	力を入れるべき分野・取組	意見
1	札幌市が近い、アクセス	○	1	雪が多い、雪対策や除雪		1	子育て支援、教育	○
2	自然が多い、身近	○	2	特徴がない、観光・宿泊が少ない		2	障がい者福祉・支援	
3	子育て環境、子育て世代が多い	○	3	札幌市に頼りがち、目を向けがち	○	3	働く場	○
4	日用品店が多い・揃っている		4	町内の公共交通、車がないと不便	○		情報の発信、PR	
5	大学が四つ、大学生が多い		5	企業が少なく、就職先が少ない		5	DX	○
6	全体的に交通アクセスが良い	○	6	大学生が卒業後、市外に転出		6	観光	
7	公園が多い、大きな公園がある	○	7	地域の差(高齢化、江別・大麻)		7	アクティブシニア	
8	小麦が有名、魅力ある食がある	○	8	バスが不便			高齢者福祉・支援	
9	魅力的な店がある・増えている	○	9	情報発信力が弱い・上手くない		9	子どもを産める産科	
10	地価が安い、広い宅地を購入可	○	10	公園の遊具・設備、公園の管理	○	10	公共交通	



18 経験豊富な農業者の皆さん

テーマ：江別市における将来の地域農業の活性化策について

- ・若い世代が農業に関わることが重要だと思う。
- ・スマート農業を進めるために、ローカル5G（一般企業や自治体などが、それぞれのニーズや目的に応じて自ら構築・運用・利用できる、自営の移動通信システム）があれば良いと思う。
- ・短期アルバイトなどの人材を確保する体制を構築すれば、野菜の品種を増やすことができる。
- ・市内に野菜の加工場があれば良いと思う。
- ・市内では、新鮮な野菜が生産されているので、その新鮮な野菜を加工して、市内のショッピングモールなどで売ることができれば良いと思う。
- ・モノ消費からコト消費への志向が高まる中、江別産の食材のストーリー（物語）を魅力の一つとして伝えることができれば、地域農業の活性化につながるのではないかと思う。

【共通のテーマについて、意見があった内容（○がついている項目）】

順位	江別市の「強み」	意見	順位	江別市の「弱み」	意見	順位	力を入れるべき分野・取組	意見
1	札幌市が近い、アクセス	○	1	雪が多い、雪対策や除雪		1	子育て支援、教育	○
2	自然が多い、身近	○	2	特徴がない、観光・宿泊が少ない		2	障がい者福祉・支援	
3	子育て環境、子育て世代が多い		3	札幌市に頼りがち、目を向けがち		3	働く場	○
4	日用品店が多い・揃っている		4	町内の公共交通、車がないと不便	○		情報の発信、PR	
5	大学が四つ、大学生が多い		5	企業が少なく、就職先が少ない	○	5	DX	
6	全体的に交通アクセスが良い	○	6	大学生が卒業後、市外に転出		6	観光	
7	公園が多い、大きな公園がある	○	7	地域の差(高齢化、江別・大麻)		7	アクティブシニア	○
8	小麦が有名、魅力ある食がある	○	8	バスが不便			高齢者福祉・支援	
9	魅力的な店がある・増えている	○	9	情報発信力が弱い・上手くない		9	子どもを産める産科	○
10	地価が安い、広い宅地を購入可		10	公園の遊具・設備、公園の管理		10	公共交通	



19 野幌地区自治会連絡協議会

テーマ：自治会活動の現状と課題について

- ・自治会加入率が年々低下している。マンションやアパートの家主に、自治会に加入することを入居条件にしてほしいと頼んだが、できないと言われた。コロナ禍で、自治会の活動や行事が減って、2、3年やらなくても問題なかったのだから、もうやらなくてもいいのではないかという意識が根づくこと、自治会の衰退につながってしまうことに不安を感じる。
- ・市は、自助・公助・共助や市民協働と言っているので、市職員も、補助でもいいので役員になってほしい。
- ・現役世代でもできる自治会活動にすることが重要。高齢化が進むと、役員と参加する住民の意識が離れてしまう。
- ・大切なことは、行事の回数ではない。生活に必要な自治会に生まれ変わる。会費の支払い方法はスマートフォンを利用できる人に合わせて、スマートフォンが使えない人は、今まで通りの方法で集金することにした。
- ・自治会は何をしているのか分からない若者が多いと思う。

【共通のテーマについて、意見があった内容（○がついている項目）】

順位	江別市の「強み」	意見	順位	江別市の「弱み」	意見	順位	力を入れるべき分野・取組	意見
1	札幌市が近い、アクセス	○	1	雪が多い、雪対策や除雪	○	1	子育て支援、教育	○
2	自然が多い、身近		2	特徴がない、観光・宿泊が少ない	○	2	障がい者福祉・支援	
3	子育て環境、子育て世代が多い		3	札幌市に頼りがち、目を向けがち	○	3	働く場	○
4	日用品店が多い・揃っている		4	町内の公共交通、車がないと不便	○		情報の発信、PR	
5	大学が四つ、大学生が多い	○	5	企業が少なく、就職先が少ない	○	5	DX	○
6	全体的に交通アクセスが良い		6	大学生が卒業後、市外に転出	○	6	観光	
7	公園が多い、大きな公園がある	○	7	地域の差(高齢化、江別・大麻)		7	アクティブシニア	
8	小麦が有名、魅力ある食がある	○	8	バスが不便			高齢者福祉・支援	
9	魅力的な店がある・増えている		9	情報発信力が弱い・上手くない		9	子どもを産める産科	
10	地価が安い、広い宅地を購入可		10	公園の遊具・設備、公園の管理		10	公共交通	○



20 江別地区自治会連絡協議会

テーマ：自治会活動の現状と課題について

- ・活動の後継者を考えると、どう継承していくかが課題。自分もそうだが、人のため、地域のために何かしてあげたい、そしてその結果、自分も幸せになる、というマインドが必要。会員が自治会活動への理解を持ち、お互いに関心を持ってやっていくことが大事。
- ・自治会の組織率は高いが、高齢化が進んでいる。地域には若い人が転入してきているが、自治会活動を維持できるのか課題。最近では就業年齢も高くなっており、役員をやってくれそうだなと思う人ほど、再雇用で働いている。
- ・役員のみ手が不足しているため、規約を改め、役員の仕事を経減化することにした。
- ・非加入者が多く、アパートが多い。最近できたアパートはオートロックで、勧誘したくても難しい。不動産業者は、自治会活動に協力的な事業者と、そうでない事業者がある。
- ・高齢化に加えて、住民の関心の低さが課題。市役所にも自治会に入るメリット、デメリットを尋ねてくる人が多い。任意加入ではあるが、非加入の人も、防犯灯の下を通るし、自治会で除排雪された道を通ると思うので、自治会活動に関心を持ってもらいたい。

【共通のテーマについて、意見があった内容（○がついている項目）】

順位	江別市の「強み」	意見	順位	江別市の「弱み」	意見	順位	力を入れるべき分野・取組	意見
1	札幌市に近い、アクセス	○	1	雪が多い、雪対策や除雪	○	1	子育て支援、教育	○
2	自然が多い、身近	○	2	特徴がない、観光・宿泊が少ない	○	2	障がい者福祉・支援	
3	子育て環境、子育て世代が多い	○	3	札幌市に頼りがち、目を向けがち		3	働く場	○
4	日用品店が多い・揃っている	○	4	町内の公共交通、車がないと不便	○		情報の発信、PR	
5	大学が四つ、大学生が多い	○	5	企業が少ない、就職先が少ない		5	DX	
6	全体的に交通アクセスが良い		6	大学生が卒業後、市外に転出	○	6	観光	
7	公園が多い、大きな公園がある		7	地域の差(高齢化、江別・大麻)	○	7	アクティブシニア	
8	小麦が有名、魅力ある食がある	○	8	バスが不便	○		高齢者福祉・支援	
9	魅力的な店がある・増えている	○	9	情報発信力が弱い・上手くない		9	子どもを産める産科	
10	地価が安い、広い宅地を購入可	○	10	公園の遊具・設備、公園の管理		10	公共交通	



21 江別視覚障害者福祉協会

テーマ：身近な生活で不便に思うこと

- ・歩行しづらいので、除雪や舗装に力を入れてほしい。
- ・バス路線もルートの変更があって、不便になった。
- ・江別市総合社会福祉センターに来るにも遠回りしなければならない。
- ・停止ブロックさえあれば、自分の足の裏で分かる。停止ブロックがないと、どこで歩道が終わるのか分からず、車道に出てしまうことがある。
- ・信号が変わるとスマートフォンが知らせてくれるような仕組みを取り入れてほしい。
- ・健康のためにも歩くようにしているが、交通量が少なく、信号機がない交差点を渡る時、車の音がしないと、判断がつかない時がある。
- ・街路樹が点字ブロックの上に覆いかぶさっているところがあり、歩道を確認できず、危ない場所がある。
- ・歩道が雪で埋もれていたり、歩道が細くなっている時は、転んだりする。店をやっている人は、歩道に排雪する場合が結構あるように感じる。歩く人のことも考えて、もう少し親切にしてくれたらと思う。

【共通のテーマについて、意見があった内容（○がついている項目）】

順位	江別市の「強み」	意見	順位	江別市の「弱み」	意見	順位	力を入れるべき分野・取組	意見
1	札幌市が近い、アクセス	○	1	雪が多い、雪対策や除雪		1	子育て支援、教育	
2	自然が多い、身近	○	2	特徴がない、観光・宿泊が少ない	○	2	障がい者福祉・支援	○
3	子育て環境、子育て世代が多い		3	札幌市に頼りがち、目を向けがち	○	3	働く場	
4	日用品店が多い・揃っている		4	町内の公共交通、車がないと不便			情報の発信、PR	
5	大学が四つ、大学生が多い	○	5	企業が少なく、就職先が少ない	○	5	DX	○
6	全体的に交通アクセスが良い		6	大学生が卒業後、市外に転出		6	観光	
7	公園が多い、大きな公園がある		7	地域の差(高齢化、江別・大麻)		7	アクティブシニア	○
8	小麦が有名、魅力ある食がある	○	8	バスが不便			高齢者福祉・支援	
9	魅力的な店がある・増えている		9	情報発信力が弱い・上手くない		9	子どもを産める産科	
10	地価が安い、広い宅地を購入可		10	公園の遊具・設備、公園の管理		10	公共交通	



22 市内各高等学校の生徒の皆さん

テーマ：各学校における授業スタイルの変化について

- ・校内でWi-Fiが使えるようになった。
- ・マスクをして夏服を着ていたが、今はジャージで過ごしてもよくなった。
- ・朝学習や朝テストを行う際、紙ではなく、スマートフォンを使って行うようになった。
- ・去年はオンラインでの授業が多かったが、今年是对面での授業に戻りつつある。オンライン授業は、黒板が見えなかったり、先生とのやり取りがあまりできなかったりしたので、自分是对面授業の方が良いと思う。
- ・緊急事態宣言中、授業は全部オンラインになった時期があったが、受信環境によって画質に差があるので、対面の方が良い。
- ・対面授業でも、授業中に分からないことがあればタブレット端末を使って調べても良いことになったほか、課題の提出や先生からの連絡もオンラインで行うことが多くなった。また、オンラインで、先生から教えてもらうこともできるようになったことで、先生との距離が近くなり、勉強しやすくなったと感じている。
- ・休んだ人にLINEで板書の写真を送ることができるように、今、学校でLINEの使用を認めてもらえるように、生徒会から高校に申請をしている。

【共通のテーマについて、意見があった内容（○がついている項目）】

順位	力を入れるべき分野・取組	意見
1	子育て支援、教育	○
2	障がい者福祉・支援	
3	働く場	
	情報の発信、PR	
5	DX	
6	観光	○
7	アクティブシニア	
	高齢者福祉・支援	
9	子どもを産める産科	
10	公共交通	○



23 地域の医療・介護に携わる方

テーマ：10年後の地域医療・介護の在り方について

- ・インフルエンザと新型コロナが同時に流行するかもしれないので、発熱外来などに力を入れてほしい。
- ・インフォーマルなサービスを充実させれば、高齢者も住みやすいまちになるのでは。利用者・支援団体・サポートする側、三者にとって良い状態となる仕組みをつくってほしい。
- ・江別市立病院もブランディングして、良さを前面に押し出してアピールできたら良い。
- ・在宅でのケアが大事になってくるので、在宅医療に力を入れてほしい。
- ・子育て世代の転入が増えており、小児科の充実が大事。
- ・在宅で生活できるように、空き家の活用を考えていくのが良いのではないかな。
- ・障がい者の方たちも高齢化していて、行く末が心配。健常者と同じように、地域で過ごせるようなまちづくりを進めてほしい。
- ・地域医療と介護の連携の場を設けていることは重要。
- ・どの分野も人材が不足するので、選択と集中が必要なのではないか。基準緩和を市独自に行うことを考えておくことが必要なのでは。
- ・高度医療を受けた後のリハビリ機能を整えていくことが必要。
- ・災害時、福祉施設で一般の要援護者を受け入れることは難しいと思うので、ヘルパーを避難所に派遣できるルールをつくるなど、災害時対応の準備を進めることも考えられる。
- ・人生会議（アドバンス・ケア・プランニング）の場を家庭で持ってほしいと思う。
- ・医療的ケア児が在宅で暮らせる、地域で見ているような10年後になったら良い。

【共通のテーマについて、意見があった内容（○がついている項目）】

順位	江別市の「強み」	意見	順位	江別市の「弱み」	意見	順位	力を入れるべき分野・取組	意見
1	札幌市が近い、アクセス	○	1	雪が多い、雪対策や除雪	○	1	子育て支援、教育	
2	自然が多い、身近	○	2	特徴がない、観光・宿泊が少ない	○	2	障がい者福祉・支援	
3	子育て環境、子育て世代が多い	○	3	札幌市に頼りがち、目を向けがち	○	3	働く場	○
4	日用品店が多い・揃っている	○	4	町内の公共交通、車がないと不便			情報の発信、PR	
5	大学が四つ、大学生が多い	○	5	企業が少なく、就職先が少ない	○	5	DX	
6	全体的に交通アクセスが良い	○	6	大学生が卒業後、市外に転出		6	観光	
7	公園が多い、大きな公園がある		7	地域の差(高齢化、江別・大麻)	○	7	アクティブシニア	
8	小麦が有名、魅力ある食がある		8	バスが不便			高齢者福祉・支援	○
9	魅力的な店がある・増えている		9	情報発信力が弱い・上手くない	○	9	子どもを産める産科	
10	地価が安い、広い宅地を購入可	○	10	公園の遊具・設備、公園の管理		10	公共交通	



24 大麻地区自治会連絡協議会

テーマ：自治会活動の現状と課題について

- ・役員は輪番制をとる自治会が増え、役員の意識が低くなり、義務的な感じになった。若い人に入ってもらって、意識を変えていかないと成り立たないと感じている。住民の自治会離れも進んでしまっており、自治会に入らなくてもいいと考える人が増えている。
- ・新しい団地では、若い世帯が活発に活動している自治会もあるので、情報をもらって、参考にしながら活動していこうと思う。
- ・事業が中止になると「自治会は何もやっていないならば、いらぬのではないか」と考えられてしまうので、そうならないようにしていきたい。
- ・若い人が入ってきて、高齢者はフォローするという形が良いとは思っている。
- ・共働き世帯が増え、退職する年齢が高まっており、自治会活動をやりたくてもできない人もいる。
- ・女性の役員が3割ほどいるが、女性がやると子どもも含め人が集まりやすいと感じている。
- ・子育て世帯の転入が増えており、新しい世帯が来ると、雰囲気も違ってくると感じている。
- ・動員する活動には若い人も参加するが、イベントの実行や回覧板を回すことなど、昔からの活動には疑問を感じているようだ。
- ・若い人が役員に入るようにはなったが、自治会の活動が軽くなってきていると感じている。
- ・自治会がなくても困らない地域もある。江別市も対応を変えていくことが必要なのではないか。

【共通のテーマについて、意見があった内容（○がついている項目）】

順位	江別市の「強み」	意見	順位	江別市の「弱み」	意見	順位	力を入れるべき分野・取組	意見
1	札幌市が近い、アクセス	○	1	雪が多い、雪対策や除雪	○	1	子育て支援、教育	
2	自然が多い、身近	○	2	特徴がない、観光・宿泊が少ない	○	2	障がい者福祉・支援	
3	子育て環境、子育て世代が多い		3	札幌市に頼りがち、目を向けがち	○	3	働く場	○
4	日用品店が多い・揃っている		4	町内の公共交通、車がないと不便			情報の発信、PR	○
5	大学が四つ、大学生が多い		5	企業が少ない、就職先が少ない		5	DX	
6	全体的に交通アクセスが良い	○	6	大学生が卒業後、市外に転出		6	観光	○
7	公園が多い、大きな公園がある		7	地域の差(高齢化、江別・大麻)	○	7	アクティブシニア	
8	小麦が有名、魅力ある食がある		8	バスが不便			高齢者福祉・支援	
9	魅力的な店がある・増えている		9	情報発信力が弱い・上手くない	○	9	子どもを産める産科	
10	地価が安い、広い宅地を購入可		10	公園の遊具・設備、公園の管理		10	公共交通	○



25 江別身体障害者福祉協会

テーマ：身近な生活で不便に思うこと

- ・今年の大雪は、高齢の身体障がい者としては、間口の除雪が大変だった。車庫の屋根の雪下ろしも今回は業者に頼んだので費用がかかった。若い時は自分で対処したが今は難しい。
- ・市街地で行われている福祉除雪（間口除雪）が、農村地区でも適用されたら良いと思う。
- ・公共交通機関や店などが、野幌地区に集中している。自宅からは、野菜の産直所も離れており、病院もない。バスの便数が増えたら良いと思う。
- ・当協会の行事などに参加する時、福祉バスがなくなったことが大きい。
- ・日常生活で声を掛け合える関係ができていない人は多いが、そうではない人は多いと思う。声を掛け合えて、安心して生活できる環境をつくっていくことが大事だと思う。
- ・介護施設利用者の送迎の際、除雪されていない家だと、まず除雪をして、車椅子の方を迎え入れることになり時間がかかる。このような状況は今後増えていくと思う。
- ・道路も、自分が住み始めた当初はきれいだったが、今では陥没していたり、マンホールのふたが上がったり下がったりしているところがあり、雨水が流れずに溜まることがある。

【共通のテーマについて、意見があった内容（○がついている項目）】

順位	江別市の「強み」	意見	順位	江別市の「弱み」	意見	順位	力を入れるべき分野・取組	意見
1	札幌市が近い、アクセス	○	1	雪が多い、雪対策や除雪	○	1	子育て支援、教育	
2	自然が多い、身近	○	2	特徴がない、観光・宿泊が少ない	○	2	障がい者福祉・支援	
3	子育て環境、子育て世代が多い		3	札幌市に頼りがち、目を向けがち	○	3	働く場	○
4	日用品店が多い・揃っている	○	4	町内の公共交通、車がないと不便	○		情報の発信、PR	
5	大学が四つ、大学生が多い	○	5	企業が少なく、就職先が少ない	○	5	DX	○
6	全体的に交通アクセスが良い		6	大学生が卒業後、市外に転出		6	観光	
7	公園が多い、大きな公園がある	○	7	地域の差(高齢化、江別・大麻)	○	7	アクティブシニア	○
8	小麦が有名、魅力ある食がある	○	8	バスが不便	○		高齢者福祉・支援	
9	魅力的な店がある・増えている	○	9	情報発信力が弱い・上手くない	○	9	子どもを産める産科	
10	地価が安い、広い宅地を購入可		10	公園の遊具・設備、公園の管理		10	公共交通	



26 江別市PTA連合会

テーマ：子どもの進学や就職について

- ・高校は札幌市内の高校にも通えるので、選ばれない場合も多いと思うが、多くの高校や大学があることは魅力になっていると思う。
- ・江別市内にはいろいろな産業があり、魅力的な職場も多いので、それらの企業と高校や大学が連携して仕事の魅力を伝えていくことが必要。地域が一体となって、先生に地元の産業や仕事の魅力を伝えて、高校生や大学生にも伝わるようにしていかなければならない。
- ・江別市を学べる講座に参加して、江別市で働きたいと思う人には何らかのポイントを付けたり、企業説明会をセットで行うなど、学びと仕事との連携を進めたら良いのではないか。
- ・学校は、地域と連携した教育をやらなければならなくなっているのので、運営委員会で協議するだけではなく、地域の想いを学校教育に反映させられる作戦を立てられたら良い。
- ・子どもが最終的に、何らかの形で江別市に戻ってきて、江別市で生活をしてくれると親は嬉しい。
- ・江別市内で就職できればベストだが、札幌市に通勤しても良いと思う。江別市の会社に勤めたら、江別市に住むと思うが、札幌市の会社に勤めて、江別市に住むことを選んでもらうには、生活拠点としてのプラスアルファの魅力が必要なのでは。
- ・親が子どもを送迎している地域もある。子どもが自分で通えるかどうか重要で、江別市は恵まれている。学校と家とその周辺の環境は良いか、店が近くにあるか、治安は悪くないかなども重要。小学校から高校まで、また、大学も含めて、子どもが自分で通えることをアピールしたら良いと思うし、足りない部分は整備していけば良いと思う。

【共通のテーマについて、意見があった内容（○がついている項目）】

順位	江別市の「強み」	意見	順位	江別市の「弱み」	意見	順位	力を入れるべき分野・取組	意見
1	札幌市が近い、アクセス	○	1	雪が多い、雪対策や除雪		1	子育て支援、教育	○
2	自然が多い、身近		2	特徴がない、観光・宿泊が少ない		2	障がい者福祉・支援	
3	子育て環境、子育て世代が多い	○	3	札幌市に頼りがち、目を向けがち	○	3	働く場	○
4	日用品店が多い・揃っている		4	町内の公共交通、車がないと不便	○		情報の発信、PR	
5	大学が四つ、大学生が多い		5	企業が少なく、就職先が少ない		5	DX	○
6	全体的に交通アクセスが良い		6	大学生が卒業後、市外に転出		6	観光	
7	公園が多い、大きな公園がある		7	地域の差(高齢化、江別・大麻)		7	アクティブシニア	
8	小麦が有名、魅力ある食がある		8	バスが不便			高齢者福祉・支援	
9	魅力的な店がある・増えている	○	9	情報発信力が弱い・上手くない	○	9	子どもを産める産科	○
10	地価が安い、広い宅地を購入可		10	公園の遊具・設備、公園の管理		10	公共交通	

